

P G マルチペイメントサービス

モジュール・タイプ

(Java 版 マルチ決済インタフェース仕様)

2012 年 7 月 25 日 1.11 版

- ☑ 本書の著作権は「GMO ペイメントゲートウェイ株式会社(以下、弊社という)」に帰属します。
- ☑ 本書のいかなる部分においても、弊社に事前の書面による許可なく、電子的、機械的を含むいかなる手段や形式によってもその複製、改変、頒布、ならびにそれらに類似する行為を禁止します。
- ☑ 本仕様書は加盟店様と弊社との間で締結した機密保持契約において機密情報として規定される情報です。本仕様書の取扱いは機密保持契約の規定に従ってください。
- ☑ 本書の内容は、予告なく随時更新されます。
- ☑ 本書の内容について万全を期しておりますが、万一記載もれ等お気づきの点がございましたら、当社までご連絡下さい。

目次

1.	はじめに.....	7
1.1.	項目の説明	7
1.2.	開発するにあたっての注意事項.....	12
1.2.1.	取引について	12
1.2.2.	取引状態の遷移について	13
2.	コンビニ決済インタフェース仕様	15
2.1.	コンビニ決済依頼する	15
2.1.1.	コンビニ決済の流れ.....	15
2.1.2.	各インタフェース仕様詳細	16
3.	モバイル Suica 決済インタフェース仕様	20
3.1.	モバイル Suica 決済依頼する	20
3.1.1.	モバイル Suica 決済の流れ.....	20
3.1.2.	各インタフェース仕様詳細	21
4.	Mobile Edy 決済インタフェース仕様	25
4.1.	Mobile Edy 決済依頼する	25
4.1.1.	Mobile Edy 決済の流れ.....	25
4.1.2.	各インタフェース仕様詳細	26
5.	Pay-easy 決済インタフェース仕様	30
5.1.	Pay-easy 決済依頼する	30
5.1.1.	Pay-easy 決済の流れ.....	30
5.1.2.	各インタフェース仕様詳細	31
6.	PayPal 決済インタフェース仕様	36
6.1.	PayPal 決済実行する	36
6.1.1.	PayPal 決済の流れ	37
6.1.2.	各インタフェース仕様詳細	39
6.2.	PayPal 決済の取消を実行する	45
6.2.1.	PayPal 決済の取消の流れ	45
6.2.2.	各インタフェース仕様詳細	46
7.	WebMoney 決済インタフェース仕様	47
7.1.	WebMoney 決済実行する	47
7.1.1.	WebMoney 決済の流れ.....	48
7.1.2.	各インタフェース仕様詳細	50
8.	au かんたん決済インタフェース仕様	56
8.1.	au かんたん決済実行する.....	56
8.1.1.	au かんたん決済の流れ.....	57
8.1.2.	各インタフェース仕様詳細	59
8.2.	決済の内容をキャンセル・返品する	67
8.2.1.	決済内容をキャンセル・返品する流れ.....	67
8.2.2.	各インタフェース仕様詳細.....	69

8.3.	売上の確定を行う	71
8.3.1.	実売上を行う流れ	71
8.3.2.	各インタフェース仕様詳細	73
8.4.	OpenID 解除を行う	75
8.4.1.	OpenID 解除を行う流れ	75
8.4.2.	各インタフェース仕様詳細	76
9.	ドコモケータイ払い決済インタフェース仕様	77
9.1.	ドコモケータイ払い決済実行する	77
9.1.1.	ドコモケータイ払い決済の流れ	78
9.1.2.	各インターフェース仕様詳細	80
9.2.	決済の内容をキャンセル・返品する	86
9.2.1.	決済内容をキャンセル・返品する流れ	86
9.2.2.	各インタフェース仕様詳細	87
9.3.	売上の確定を行う	89
9.3.1.	実売上を行う流れ	89
9.3.2.	各インタフェース仕様詳細	91
10.	マルチ決済インタフェース仕様	93
10.1.	決済結果を参照する	93
10.1.1.	取引状態参照の流れ	93
10.1.2.	各インターフェース仕様詳細	94

変更履歴

2008 年 9 月 1 日 - 1.00 版

- ・ 新規作成

2008 年 10 月 29 日 - 1.01 版

- ・ コンビニ決済、Pay-easy決済について、表示項目にショップの名称を入れる説明を追記

2009 年 6 月 9 日 - 1.02 版

- ・ 取引状態遷移表に期限切れのステータスを追加
- ・ 支払期限日数の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：3 桁
訂正後：2 桁
- ・ コンビニ決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8 桁
訂正後：6 桁
- ・ モバイルSuica決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8 桁
訂正後：5 桁
- ・ モバイルSuica決済での支払期限秒の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：3 桁
訂正後：5 桁
- ・ Moblie Edy決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8 桁
訂正後：5 桁
- ・ Pay-easy決済での利用金額、税送料の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8 桁
訂正後：6 桁
- ・ 取引状態参照での利用金額の桁数が誤って記述されていた為、桁数を訂正
訂正前：8 桁
訂正後：7 桁
- ・ 取引状態参照での出力パラメータの概要を追加
- ・ コンビニ決済でセブンイレブン追加に伴う変更
利用金額 + 税送料にセブンイレブンでの制限を追加
氏名にセブンイレブンでの制限を追加
支払期限日数にセブンイレブンでの制限を追加
受付番号の桁数を 32 桁に変更

2009 年 9 月 1 日 - 1.03 版

- ・ 加盟店メールアドレスのパラメータ名が誤っていた為、パラメータ名を訂正
訂正前：ShopMailAdress
訂正後：ShopMailAddress

各決済実行の入力パラメータを格納するためのアクセサに、setShopMailAddress を追加しました。

setShopMailAddress アクセサを使用した場合でも、上記 ShopMailAddress に設定されますので、既存加盟店様での改修は必要ありません。

なお、setShopMailAddress、setShopMailAddress を併用した場合、最後に呼びだされたアクセサで設定した値が ShopMailAddress に設定されます。

- ・ オーダーID の説明に、メールリンクと他の接続方式を併用する場合の注意点を記載

2010 年 2 月 22 日 - 1.04 版

- ・ PayPal決済の取引状態遷移を追加
- ・ PayPal決済のインターフェース仕様を追加
- ・ 取引状態参照のインターフェース仕様にPayPal決済を追加

2010 年 3 月 31 日 - 1.05 版

- ・ パラメータの型について、誤記箇所を訂正

2010 年 4 月 5 日 - 1.06 版

- ・ 取引状態参照 トランザクションIDを返却する決済種別の誤記載を修正
訂正前：カード・コンビニ・Pay-easy・PayPal 決済時のみ返却
訂正後：カード・PayPal 決済時のみ返却

2010 年 6 月 16 日 - 1.07 版

- ・ WebMoney決済の取引状態遷移を追加
- ・ WebMoney決済のインターフェース仕様を追加
- ・ 取引状態参照のインターフェース仕様にWebMoney決済を追加

2011 年 2 月 1 日 - 1.08 版

- ・ 1.2.1-1. 入出力項目の定義に通貨コードを追加
- ・ 1.2.1-1. 入出力項目の定義 利用金額に円決済以外の注意点を追加
- ・ 6.1.2.1. 入力パラメータにCurrencyを追加
- ・ 6.1.2.1. 入力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- ・ 6.2.2.1. 入力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正
- ・ 8.1.2.1. 出力パラメータ Amount及びTaxの桁数を修正

2011 年 9 月 15 日 - 1.09 版

- ・ 8.1.2.1. 出力パラメータ JobCd から UNPROCESSED：未決済 AUTHENTICATED：未決済(3D 登録済)を削除

2012 年 3 月 16 日 - 1.10 版

- ・ auかんたん決済サービスを追加
- ・ auかんたん決済の取引状態遷移を追加
- ・ auかんたん決済のインターフェース仕様を追加
- ・ 取引状態参照のインターフェース仕様にauかんたん決済を追加
- ・ 5.1.2.3 金融機関選択画面の表示 pay-easyにて各金融機関でお支払い可能となるまでの時間について追記。

2012 年 7 月 25 日 - 1.11 版

- ・ ドコモケータイ払いサービスを追加
- ・ ドコモケータイ払いの取引状態遷移を追加

- ・ ドコモケータイ払いのインターフェース仕様を追加
- ・ 取引状態参照のインターフェース仕様にドコモケータイ払いを追加

1. はじめに

本書は、お客様が本サービスのコンビニ、モバイル Suica、モバイル Edy、Pay-easy 決済、Paypal 決済、Webmoney 決済開発を行う際に、円滑に進められるようにすることを目的としています。カード決済につきましては、別紙「060_モジュールタイプ (Java 版_カード決済インタフェース仕様)」をご参照下さい。

本書では、以下のような表記を使用致します。

『』: 処理状態または処理区分

【】: インタフェース名

1.1. 項目の説明

ここでは、本書で使用している項目の説明を致します。

以下に、各インタフェースの入出力で使用している項目の説明を致します。

表 1.2.1-1 入出力項目の定義

No.	項目	説明
1	ショップ ID	弊社が発行する加盟店様を識別する ID です。
2	ショップパスワード	弊社が発行する加盟店様を識別する ID に対するパスワードです。
3	オーダーID	<p>加盟店様が取引を識別するために使用して頂く ID です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字と”-“(ハイフン)」となります。</p> <p>また、メールリンク決済では、弊社側で「ML-ORDER」で開始するオーダーID を自動生成します。メールリンクと他の接続方式を併用される場合、「ML-ORDER」で開始されるオーダーID はご利用にならないよう、お願いいたします。</p>
4	利用金額	<p>税送料を含まない金額です。</p> <p>決済を行う金額を 1 円以上で設定します。尚、0 円やマイナス金額を設定した場合はエラーとなります。</p> <p>円以外の通貨での決済の場合、0.01 以上の金額で設定します。0 や通貨ごとの設定上限金額を設定した場合はエラーとなります。</p> <p>通貨ごとの設定上限金額の詳細は「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p> <p>また、決済手段により決済可能な金額に上限があります。決済手段による上限金額の詳細は「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p> <p>コンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合は、利用金額 + 税送料が 200 円以上である必要があります。</p>

5	税送料	<p>送料等の実際の商品金額とは異なる金額です。</p> <p>税送料を設定した場合には、決済金額が利用金額と税送料を合わせたものとなります。</p>
6	通貨コード	<p>決済で利用する通貨を 3 桁のコードで指定します。</p> <p>設定可能な文字は「半角英字」となります。存在しない通貨コードを指定した場合、エラーとなります。</p> <p>利用可能な通貨コードについては、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
7	取引 ID	本サービスにて発行する取引を識別するためのユニークな ID です。
8	取引パスワード	本サービスにて発行する取引を識別する ID に対するパスワードです。
9	加盟店自由項目 1～3	<p>加盟店様で自由に設定出来る項目となります。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
10	加盟店自由項目 返却フラグ	<p>設定された自由項目の値を決済完了時に返却するかを指定するフラグです。</p> <p>0：返却しない(デフォルト) 1：返却する</p>
11	決済日付	本サービスの決済を行った日時となります。
12	現状態	取引の現在状態です。
13	バージョン	パラメータのバージョンを指定します。
14	支払先コンビニコード	支払先のコンビニ会社コードです。各コンビニ会社のコードにつきましては、別紙「160_仕向先会社コード一覧」をご参照下さい。
15	氏名	<p>お客様名です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p> <p>コンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合は、半角記号は使用できません。</p>
16	フリガナ	<p>お客様のフリガナです。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
17	電話番号	<p>お客様の電話番号です。</p> <p>設定可能な文字は「半角数字と”-“(ハイフン)」となります。</p>
18	支払期限日数	<p>支払期限日数を指定します。支払期限日時の算出に使います。</p> <p>コンビニ決済でセブンイレブンを指定した場合は、指定可能な支払期限日数の下限が 1 となります。</p>

19	結果通知先メールアドレス	お客様に送信する結果通知先メールアドレスです。
20	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレスです。
21	予約番号	Loppi・Fami パウチャー受領書に表示される予約番号です。 設定可能な文字は「 半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') 」となります。
22	会員番号	Loppi・Fami パウチャー受領書に表示される会員番号です。 設定可能な文字は「 半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') 」となります。
23	レジ・ATM 表示欄 1～8	レジ・ATM に表示される内容です。 設定可能な文字は「 全角文字 」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。
24	レシート・利用明細表示欄 1～10	レシート・利用明細に表示される内容です。 設定可能な文字は「 全角文字 」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。
25	お問合せ先	Loppi・Fami パウチャー受領書に表示される内容です。 設定可能な文字は「 半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字 」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。
26	お問合せ先受付時間	Loppi・Fami パウチャー受領書に表示される内容です。 設定可能な文字は「 半角数字と”-“(ハイフン)および”:(コロン) 」となります。 また、設定は「09:00-18:00」といった「2 桁:2 桁-2 桁:2 桁」書式で設定する必要があります
27	お問合せ先電話番号	Loppi・Fami パウチャー受領書に表示される内容です。 設定可能な文字は「 半角数字と”-“(ハイフン) 」となります。
28	Suica 注文番号	本サービスが Suica 決済毎に発行する注文番号です。

29	商品・サービス名	<p>Suica,PayPal,iD ネット,WebMoney 決済を行うときの商品・サービス名を指定します。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。</p> <p>WebMoney 決済では半角記号は使用できません。</p> <p>全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
30	メールアドレス	お客様が Suica、Edy に登録したメールアドレスです。
31	決済開始メール付加情報	<p>Suica,Edy で決済を行うときのメール付加情報です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
32	決済完了メール付加情報	<p>Suica,Edy で決済を行うときのメール付加情報です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
33	決済完了画面付加情報	<p>Suica で決済を行うときの画面に表示する付加情報です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
34	決済内容確認画面付加情報	<p>Suica で決済を行うときの画面に表示する付加情報です。</p> <p>設定可能な文字は「半角英数字 + 半角記号(除く ^ ` { } ~ & < > " ') + 全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
35	支払期限日時	支払期限の日時です。
36	支払期限秒	支払期限秒を指定します。支払期限日時の算出に使います。
37	決済方法	行った決済方法です。
38	受信結果	結果通知を行ったときの受信結果です。
39	収納機関番号	Pay-easy 収納機関番号です。
40	お客様番号	Pay-easy お客様番号です。
41	MD5 ハッシュ	入力内容の OrderID ~ TranDate+ショップパスワードのハッシュ値にした内容です。
42	確認番号	コンビニで決済を行ったときの確認番号です。
43	受付番号	支払先が返却した受付番号です。
44	Edy 注文番号	本サービスが Edy 決済毎に発行する注文番号です。
45	受付日時	各決済手段で後続の決済センターが受け付けた日時です。
46	入金確定日時	各決済手段で入金の確定した日時です。

47	処理日時	本サービスを行ったときの処理日時です。
48	エラーコード	実行時にエラーが発生した場合、エラーコードを出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。
49	エラー詳細コード	実行時にエラーが発生した場合、エラー詳細を出力します。複数のエラーがある場合、" "で接続された文字列になります。

1.2. 開発するにあたっての注意事項

ここでは、モジュール・タイプで開発する上で注意して頂きたい事をご説明を致します。

1.2.1. 取引について

以下に、取引内容に付いての注意事項をご説明を致します。

取引の削除

本サービスは、一度取引を行うと結果にエラーがあった場合でも取引の削除は出来ませんのでご注意ください。

オーソリを失敗した場合でもオーダーID の再利用は出来ませんので、オーダーID の発番ルールに注文書番号等の設定すると変更が出来ない番号を使用しないで下さい。どうしても、使用しなくてはならない場合は、注文番号+連番のような発番ルールを推奨いたします。

1.2.2. 取引状態の遷移について

以下に、各取引状態の遷移をご説明を致します。

表 1.2.2-1 取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	コンビニ 決済	モバイル Suica 決済	Mobile Edy 決済	Pay-easy 決済	WebMoney 決済
取引登録	-	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済
決済要求	成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功	要求成功
	失敗	未決済	未決済	未決済	未決済	未決済
入金通知	-	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了	決済完了
メール不達通知	-	-	-	決済失敗	-	-
未入金で 支払期限切れ	-	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「 - 」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-2 PayPal 取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	-	-	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
PayPal 上での認証、支払操作完了後の決済処理	成功	要求成功	即時売上
	失敗	要求成功	決済失敗
ユーザーが PayPal 上の認証、支払操作画面でキャンセル	-	要求成功	決済失敗
キャンセル	成功	即時売上	キャンセル
	失敗	即時売上	即時売上
PayPal 上での認証、支払操作が未完了で支払期限切れ	-	要求成功	期限切れ

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「 - 」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

表 1.2.2-3 au かんたん決済の取引状態遷移表

操作 (状態変化)	操作結果	操作前の状態	操作後の状態
取引登録	-	-	未決済
決済要求	成功	未決済	要求成功
	失敗	未決済	未決済
au ID 認証処理	成功	要求成功	認証中
	失敗	要求成功	決済失敗
オーソリ処理	成功	要求成功	仮売上
	失敗	要求成功	決済失敗
即時売上	成功	要求成功	即時売上
	失敗	要求成功	決済失敗
実売上	成功	仮売上	実売上
	失敗	仮売上	仮売上
キャンセル	成功	仮売上 / 実売上 / 即時売上	キャンセル
	失敗	仮売上 / 実売上 / 即時売上	仮売上 / 実売上 / 即時売上
返品	成功	実売上 / 即時売上	返品
	失敗	実売上 / 即時売上	実売上 / 即時売上
操作が未完了で支払期限切れ	-	要求成功	要求成功

上記は、左欄の操作が行われた場合、状態がどうなっているかを表しています。

「 - 」は、該当する結果、若しくは操作がないことを表しています。

2. コンビニ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

2.1. コンビニ決済依頼する

購入時にお客様がコンビニ決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

2.1.1. コンビニ決済の流れ

以下に、コンビニ決済の流れをご説明します。

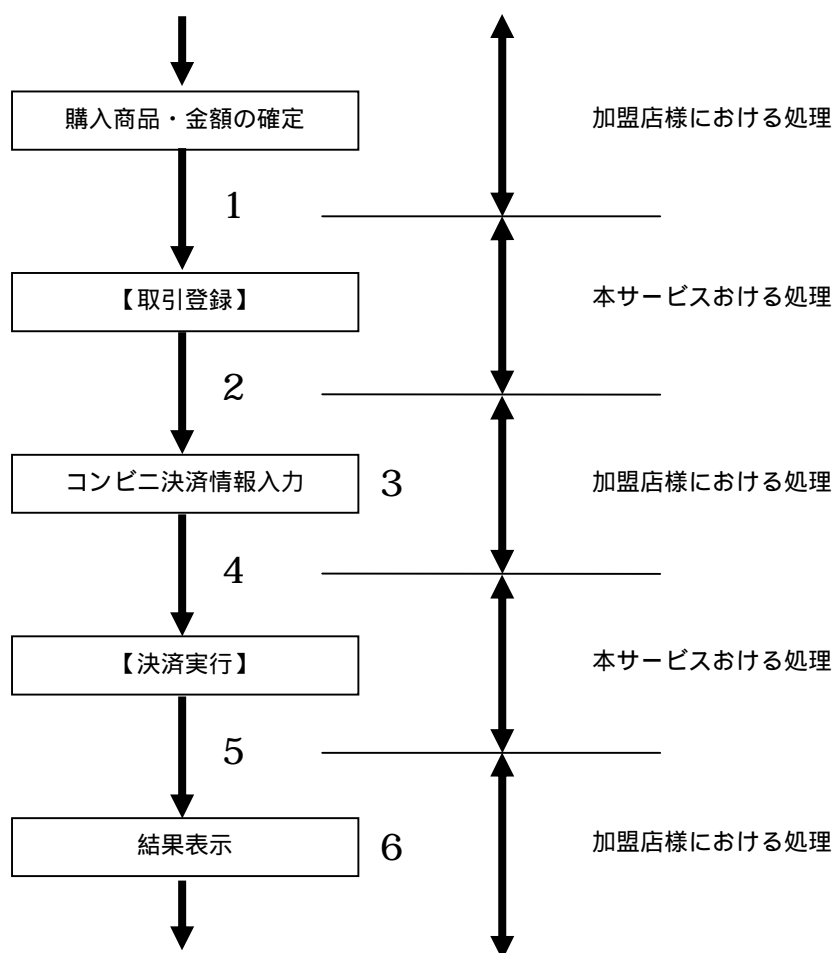


図 2.1.1-1 コンビニ決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にコンビニ決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたコンビニ決済情報をもって本サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 本サービスは、コンビニ決済情報を使用して後続の決済センターとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

2.1.2. 各インターフェース仕様詳細

2.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranCvs	EntryTranCvsInput	EntryTranCvsOutput	コンビニタイプの取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【EntryTranCvsInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranCvsOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Amount		Integer	6	利用金額	セブンイレブンの場合 利用金額+税送料で 200 円以上である必要があります。
5	Tax		Integer	6	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ : 同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

2.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranCvs	ExecTranCvsInput	ExecTranCvsOutput	コンビニタイプの決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranCvsInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranCvsOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Convenience		String	5	支払先コンビニコード	
5	CustomerName		String	40	氏名	セブンイレブンを指定した場合は、半角記号は使用できません。
6	CustomerKana		String	40	フリガナ	
7	TelNo		String	13	電話番号	
8	PaymentTermDay		Integer	2	支払期限日数	呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。 セブンイレブンを指定した場合は、指定可能な支払期限日数の下限が 1 となります。
9	MailAddress		String	256	結果通知先メールアドレス	お客様へ結果通知先メールアドレス
10	ShopMailAddress		String	256	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。 呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
11	ReserveNo		String	20	予約番号	oppi・Fami パウチャー受領書に表示される。
12	MemberNo		String	20	会員番号	Loppi・Fami パウチャー受領書に表示される。
13	RegisterDisp1		String	32	POS レジ表示欄 1	ショップ名称を設定してください。 (例) ギフトショップ
14	RegisterDisp2		String	32	POS レジ表示欄 2	POS レジに表示される。
15	RegisterDisp3		String	32	POS レジ表示欄 3	POS レジに表示される。
16	RegisterDisp4		String	32	POS レジ表示欄 4	POS レジに表示される。
17	RegisterDisp5		String	32	POS レジ表示欄 5	POS レジに表示される。
18	RegisterDisp6		String	32	POS レジ表示欄 6	POS レジに表示される。
19	RegisterDisp7		String	32	POS レジ表示欄 7	POS レジに表示される。
20	RegisterDisp8		String	32	POS レジ表示欄 8	POS レジに表示される。
21	ReceiptsDisp1		String	60	レシート表示欄 1	レシートに表示される。 例) ご利用ありがとうございました。
22	ReceiptsDisp2		String	60	レシート表示欄 2	レシートに表示される。
23	ReceiptsDisp3		String	60	レシート表示欄 3	レシートに表示される。
24	ReceiptsDisp4		String	60	レシート表示欄 4	レシートに表示される。

25	ReceiptsDisp5		String	60	レシート表示欄 5	レシートに表示される。
26	ReceiptsDisp6		String	60	レシート表示欄 6	レシートに表示される。
27	ReceiptsDisp7		String	60	レシート表示欄 7	レシートに表示される。
28	ReceiptsDisp8		String	60	レシート表示欄 8	レシートに表示される。
29	ReceiptsDisp9		String	60	レシート表示欄 9	レシートに表示される。
30	ReceiptsDisp10		String	60	レシート表示欄 10	レシートに表示される。
31	ReceiptsDisp11		String	42	お問合せ先	L o p p i ・ F a m i パウチャー受領書に表示される。
32	ReceiptsDisp12		String	12	お問合せ先電話番号	L o p p i ・ F a m i パウチャー受領書に表示される。
33	ReceiptsDisp13		String	11	お問合せ先受付時間	L o p p i ・ F a m i パウチャー受領書に表示される。 例) 09:00-18:00
34	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
35	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
36	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
37	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定 0: 返却しない 1: 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Convenience	-	String	5	支払先コンビニ	
3	ConfNo	-	String	20	確認番号	支払先コンビニがローソン・ファミリーマートの場合設定される
4	ReceiptNo	-	String	32	受付番号	支払先が返却した受付番号
5	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
6	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
7	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショッピングパスワードのハッシュ値(1)
8	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
9	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
11	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

1: 出力内容の OrderID ~ TranDate とショッピングパスワードをベースにしたハッシュ値

2.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranCvs	EntryExecTranCvsInput	EntryExecTranCvsOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インターフェイスを使用しています。

【EntryExecTranCvsInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranCvsOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

3. モバイル Suica 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

3.1. モバイル Suica 決済依頼する

購入時にお客様がモバイル Suica 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

3.1.1. モバイル Suica 決済の流れ

以下に、モバイル Suica 決済の流れをご説明します。

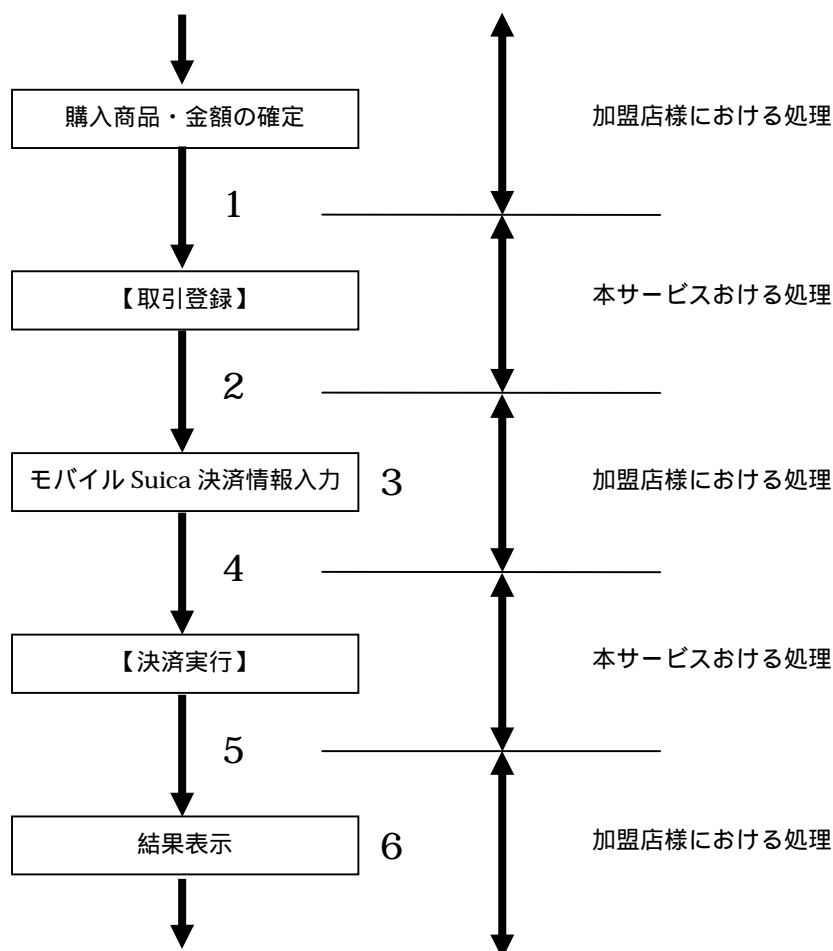


図 3.1.1-1 モバイル Suica 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの**【取引登録】**を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様にモバイル Suica 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力されたモバイル Suica 決済情報をもって本サービスの**【決済依頼実行】**を呼び出します。
5. 本サービスは、モバイル Suica 決済情報を使用して J R 東日本との通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

3.1.2. 各インターフェース仕様詳細

3.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranSuica	EntryTranSuicaInput	EntryTranSuicaOutput	モバイル Suica タイプの取引登録インターフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranSuicaInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranSuicaOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダー ID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Amount		Integer	5	利用金額	
5	Tax		Integer	5	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

3.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報で J R 東日本(Suica センター)と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranSuica	ExecTranSuicaInput	ExecTranSuicaOutput	モバイル Suica タイプの決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranSuicaInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranSuicaOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	空の場合はオーダーID をシステムでセットし処理する。要一意性。
4	ItemName		String	40	商品・サービス名	モバイル Suica アプリに表示される。
5	MailAddress		String	256	メールアドレス	
6	ShopMailAddress		String	256	加盟店メールアドレス	お客様への決済開始メール、決済完了メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。
7	SuicaAddInfo1		String	256	決済開始メール付加情報	
8	SuicaAddInfo2		String	256	決済完了メール付加情報	
9	SuicaAddInfo3		String	256	決済内容確認画面付加情報	
10	SuicaAddInfo4		String	256	決済完了画面付加情報	
11	PaymentTermDay		Integer	2	支払期限日数	呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される
11	PaymentTermSec		Integer	5	支払期限秒	最大 86,400 秒(1 日) 呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限秒で処理される
13	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
14	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
15	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
16	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0: 返却しない 1: 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	SuicaOrderNo	-	String	40	Suica 注文番号	オーダーID + "-" + 連番
3	ReceiptNo	-	String	9	受付番号	Suica 受付番号
4	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
6	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(1)
7	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
8	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
10	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

1 : 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

3.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranSuica	EntryExecTranSuicaInput	EntryExecTranSuicaOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インターフェイスを使用しています。

【EntryExecTranSuicaInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranSuicaOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

4. Mobile Edy 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

4.1. Mobile Edy 決済依頼する

購入時にお客様が Mobile Edy 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

4.1.1. Mobile Edy 決済の流れ

以下に、Mobile Edy 決済の流れをご説明します。

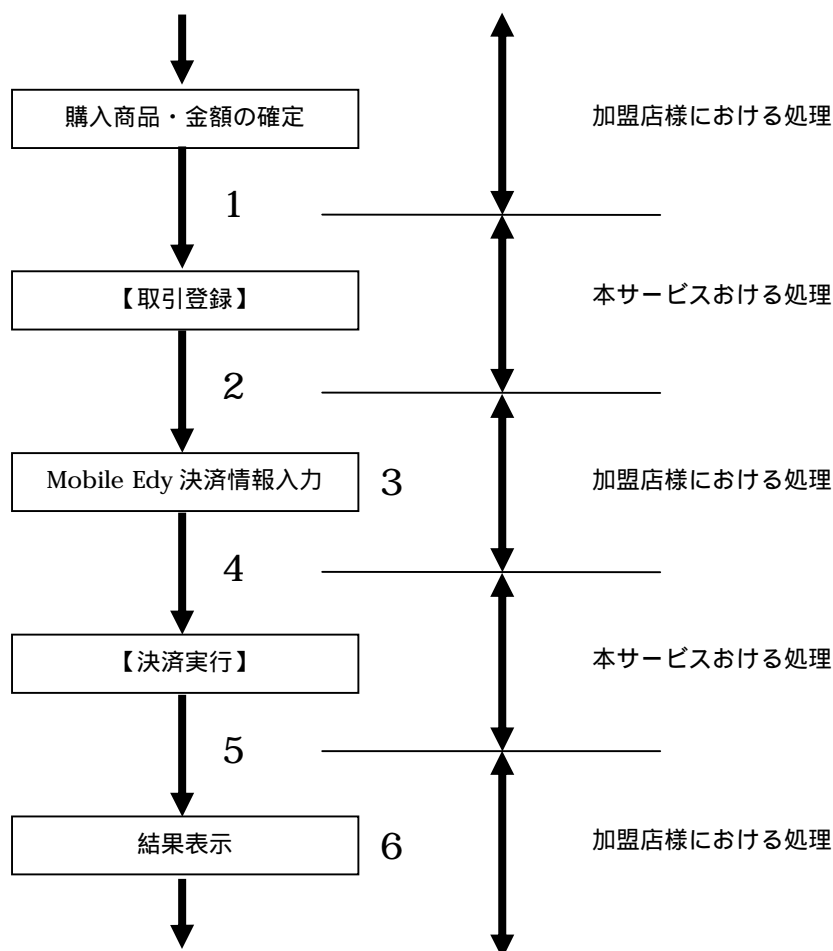


図 4.1.1-1 Mobile Edy 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様に Mobile Edy 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力された Mobile Edy 決済情報をもって本サービスの【決済依頼実行】を呼び出します。
5. 本サービスは、Mobile Edy 決済情報を使用してビットワレットとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

4.1.2. 各インターフェース仕様詳細

4.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranEdy	EntryTranEdyInput	EntryTranEdyOutput	Mobile Edy タイプの取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【EntryTranEdyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranEdyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダー ID	ショップ発行の取引識別 ID
4	Amount		Integer	5	利用金額	
5	Tax		Integer	5	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

4.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報でビットワレット(Edy センター)と通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranEdy	ExecTranEdyInput	ExecTranEdyOutput	Mobile Edy タイプの決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranEdyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranEdyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	空の場合はオーダーID をシステムでセットし処理する。要一意性。
4	MailAddress		String	256	メールアドレス	
5	ShopMailAddress		String	256	加盟店メールアドレス	お客様への決済開始メール、決済完了メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
6	EdyAddInfo1		String	180	決済開始メール付加情報	
7	EdyAddInfo2		String	320	決済完了メール付加情報	
8	PaymentTermDay		Integer	2	支払期限日数	呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される
9	PaymentTermSec		Integer	5	支払期限秒	最大 86,400 秒(1 日) 呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限秒で処理される
10	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
11	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
12	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
13	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0: 返却しない 1: 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	ReceiptNo	-	String	16	受付番号	Edy 受付番号
3	EdyOrderNo	-	String	40	Edy 注文番号	オーダーID + "-" + 連番
4	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
6	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(1)
7	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
8	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
9	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
10	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

1 : 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

4.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranE dy	EntryExecTranEdyIn put	EntryExecTranEdyOu tput	プロトコルタイプの取引登録と決済 実行インターフェイスを使用して行 います。

【EntryExecTranEdyInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranEdyOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

5. Pay-easy 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

5.1. Pay-easy 決済依頼する

購入時にお客様が Pay-easy 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

5.1.1. Pay-easy 決済の流れ

以下に、Pay-easy 決済の流れをご説明します。

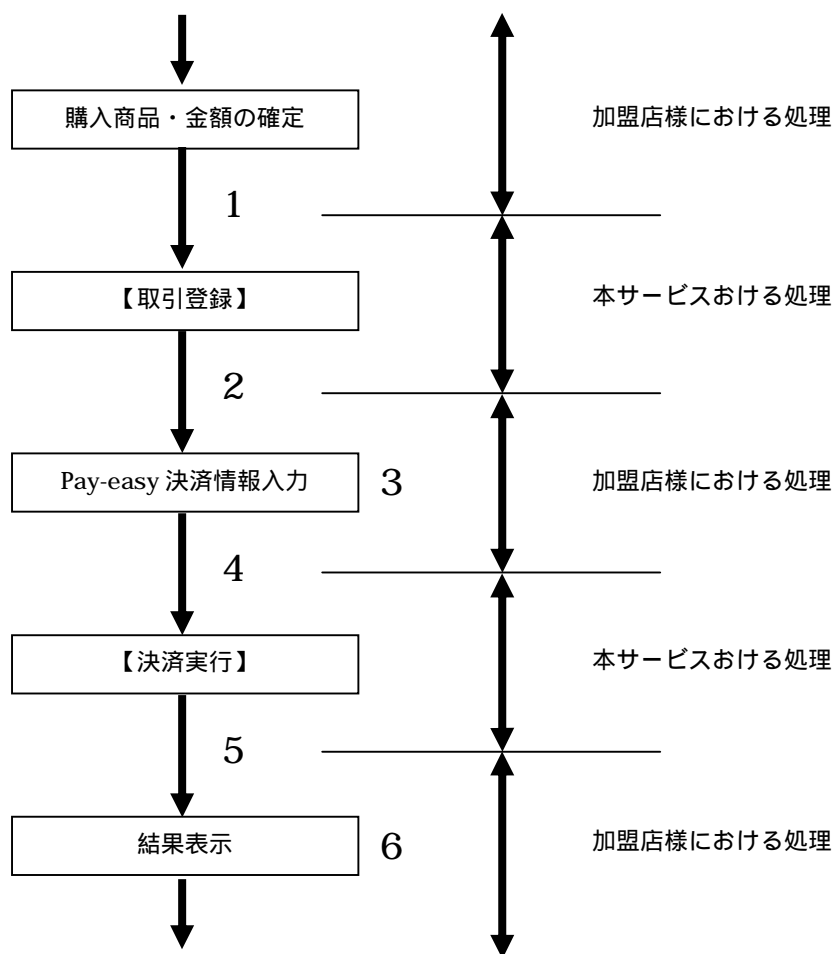


図 5.1.1-1 Pay-easy 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別する ID とパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、お客様に Pay-easy 決済に必要な情報を入力して頂く画面を表示します。
4. 加盟店様は、入力された Pay-easy 決済情報をもって本サービスの【決済依頼実行】を呼び出します。
5. 本サービスは、Pay-easy 決済情報を使用して後続の決済センターとの通信を行い決済を実施し結果を返します。
6. 加盟店様は、決済の結果をお客様に表示します。

5.1.2. 各インターフェース仕様詳細

5.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranPayEasy	EntryTranPayEasyInput	EntryTranPayEasyOutput	Pay-easy タイプの取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【EntryTranInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダー ID	
4	Amount		Integer	6	利用金額	
5	Tax		Integer	6	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

5.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

お客様が入力した情報で後続の決済センターと通信を行い決済を実施し、結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranPayEasy	ExecTranPayEasyInput	ExecTranPayEasyOutput	Pay-easy タイプの決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranPayEasyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranPayEasyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
2	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
3	OrderID		String	27	オーダーID	空の場合はオーダーID をシステムでセットし処理する。要一意性。
4	CustomerName		String	40	氏名	
5	CustomerKana		String	40	フリガナ	
6	TelNo		String	13	電話番号	
7	PaymentTermDay		Integer	2	支払期限日数	呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される
8	MailAddress		String	256	結果通知先メールアドレス	お客様へ結果通知先メールアドレス
9	ShopMailAddress		String	256	加盟店メールアドレス	お客様への結果通知メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。 呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
10	RegisterDisp1		String	32	ATM 表示欄 1	ショップ名称を設定してください。 (例) ギフトショップ
11	RegisterDisp2		String	32	ATM 表示欄 2	ATM に表示される。
12	RegisterDisp3		String	32	ATM 表示欄 3	ATM に表示される。
13	RegisterDisp4		String	32	ATM 表示欄 4	ATM に表示される。
14	RegisterDisp5		String	32	ATM 表示欄 5	ATM に表示される。
15	RegisterDisp6		String	32	ATM 表示欄 6	ATM に表示される。
16	RegisterDisp7		String	32	ATM 表示欄 7	ATM に表示される。
17	RegisterDisp8		String	32	ATM 表示欄 8	ATM に表示される。
18	ReceiptsDisp1		String	60	利用明細表示欄 1	利用明細に表示される。 例) ご利用ありがとうございました。
19	ReceiptsDisp2		String	60	利用明細表示欄 2	利用明細に表示される。
20	ReceiptsDisp3		String	60	利用明細表示欄 3	利用明細に表示される。
21	ReceiptsDisp4		String	60	利用明細表示欄 4	利用明細に表示される。
22	ReceiptsDisp5		String	60	利用明細表示欄 5	利用明細に表示される。
23	ReceiptsDisp6		String	60	利用明細表示欄 6	利用明細に表示される。
24	ReceiptsDisp7		String	60	利用明細表示欄 7	利用明細に表示される。
25	ReceiptsDisp8		String	60	利用明細表示欄 8	利用明細に表示される。
26	ReceiptsDisp9		String	60	利用明細表示欄 9	利用明細に表示される。
27	ReceiptsDisp10		String	60	利用明細表示欄 10	利用明細に表示される。
28	ReceiptsDisp11		String	42	お問合せ先	
29	ReceiptsDisp12		String	12	お問合せ先電話番号	

30	ReceiptsDisp13		String	11	お問合せ先受付時間	例) 09:00-18:00
31	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
32	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
33	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
34	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目 返却フラグ	以下のいずれかを設定 0: 返却しない 1: 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	CustID	-	String	11	お客様番号	
3	BkCode	-	String	5	収納機関番号	
4	ConfNo	-	String	20	確認番号	
5	EncryptReceiptNo	-	String	128	暗号化決済番号	金融機関選択画面を呼び出す際に利用
6	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
7	TranDate	-	String	14	決済日付	yyyyMMddHHmmss 書式
8	CheckString	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショップパスワードのハッシュ値(1)
9	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
10	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
11	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
12	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

1: 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

5.1.2.3. 金融機関選択画面の表示

処理概要

Pay-easy 決済において、お客様をそのままネットバンキングへ誘導する場合は、金融機関選択画面へと遷移させる必要があります。

金融機関選択画面はあらかじめ用意されていますので、決済実行の出力パラメータである暗号化決済番号をパラメータとして、弊社指定 URL へ遷移するためのページを表示してください。

なお、決済実行後、各金融機関で支払い可能となるまで 20 秒程度お時間がかかります。

金融機関選択画面への遷移ページパラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	EncryptReceiptNo		String	128	暗号化決済番号	決済実行にて返却された文字列を指定 (文字列中に記号を含む)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

遷移用ページサンプル

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="SelectPageCall" action="https://link.kessai.info/JLP/JLPbnk" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          金融機関選択画面に遷移します。<br>
          ボタンをクリックしてください。
        </h2>
        <input type="submit" value="OK">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="code" value="{EncryptReceiptNo}">
    <input type="hidden" name="rkbn" value="1">
  </form>
  <script >
  <!--
    function OnLoadEvent() {
      document.SelectPageCall.submit();
    }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

・ 本番用 (PC)
・ 本番用 (モバイル)
が存在します。
環境設定書を参照して、適切な
URL を設定してください

5.1.2.4. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranPayEasy	EntryExecTranPayEasyInput	EntryExecTranPayEasyOutput	プロトコルタイプの取引登録と決済実行インターフェイスを使用しています。

【EntryExecTranPayEasyInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranPayEasyOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

6. PayPal 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

6.1. PayPal 決済実行する

PayPal 上での認証、支払操作完了後に決済処理を実行します。

6.1.1. PayPal 決済の流れ

以下に、PayPal;決済の流れをご説明します。

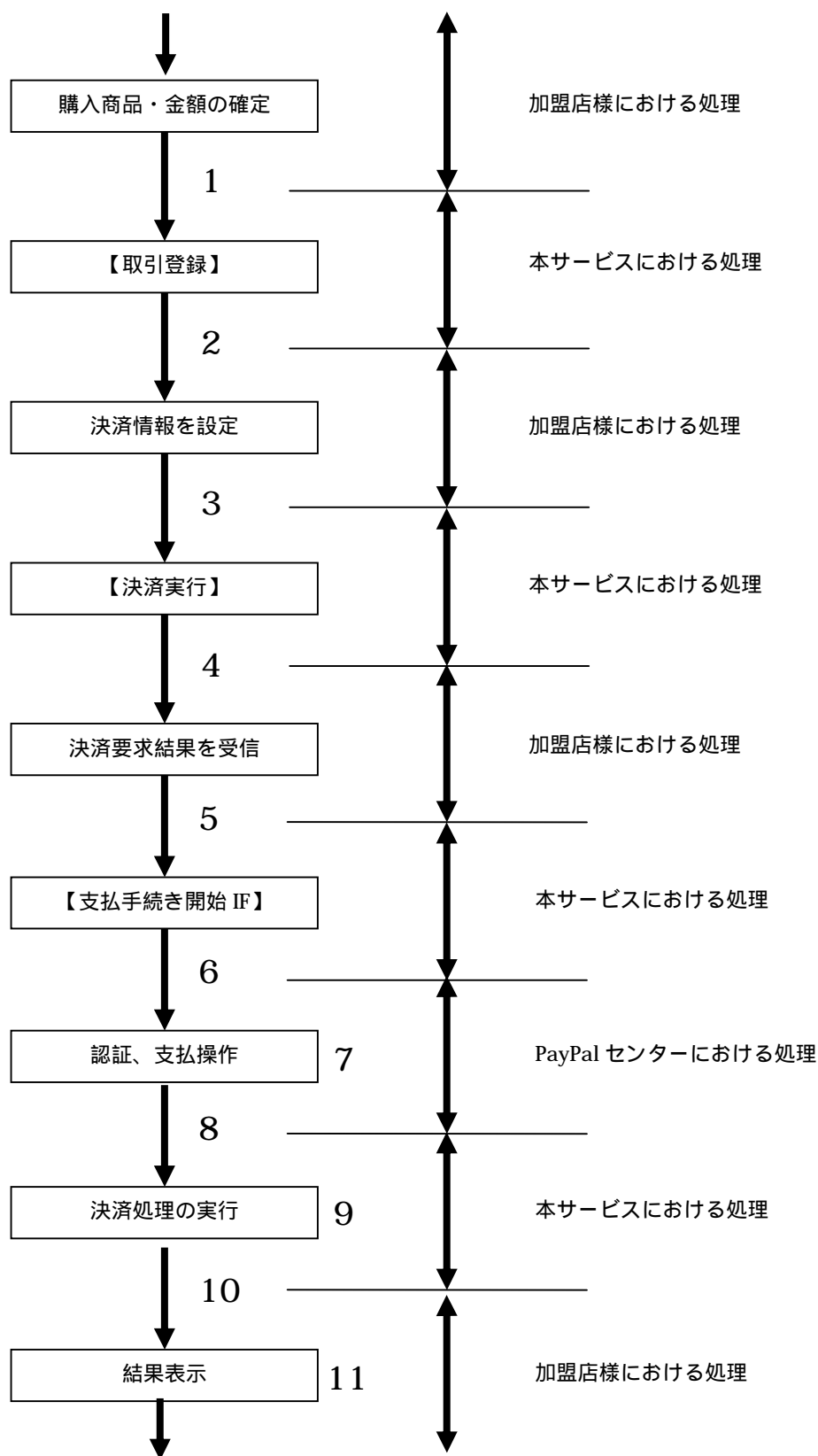


図 6.1.1-1PayPal 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。

2. 本サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し本サービスの【**決済実行**】を呼び出します。
4. 本サービスは、PayPalセンターとの通信を行い決済要求結果を返します。
5. 加盟店様は、リダイレクト機能を使用し、お客様を本サービスの【**支払手続き開始IF**】に誘導します。
6. 本サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をPayPalセンターの認証画面に誘導します。
7. お客様は、PayPalの認証画面にログインし、支払画面にて支払操作を行います。
8. PayPalセンターは、リダイレクト経由で、支払操作結果を本サービスに送信します。
9. 本サービスは、PayPalセンターとの通信を行い決済処理を行います。
10. 本サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

6.1.2. 各インターフェース仕様詳細

6.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranPaypal	EntryTranPaypalInput	EntryTranPaypalOutput	PayPal 決済の取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【EntryTranPaypalInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranPaypalOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダー ID	
4	JobCd		String	-	処理区分	CAPTURE：即時売上
5	Amount		Integer	10	利用金額	
6	Tax		Integer	10	税送料	
7	Currency		String	3	通貨コード	省略時：JPY (日本円)

【必須項目の記号】：必須：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダー ID	
2	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ：同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ：同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号】：必須：条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】

6.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

PayPal センターと通信を行い決済要求結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranPaypal	ExecTranPaypalInput	ExecTranPaypalOutput	PayPal 決済の決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranPaypalInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranPaypalOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	ItemName		String	64	商品・サービス名	PayPal の支払画面に表示する商品名を指定。
7	RedirectURL		String	200	リダイレクト URL	加盟店様が本サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定。 PayPal 上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、本サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信。
8	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
9	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
10	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
11	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0 : 返却しない 1 : 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
3	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
4	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
5	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

6.1.2.3. 支払手続き開始 IF の呼出し

処理概要

PayPal 決済において、お客様を PayPal の認証画面へと遷移させる必要があります。

加盟店様はリダイレクト機能を利用して、お客様を本サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。

本サービスは各種パラメータを設定し、お客様を PayPal の認証画面に誘導します。

取引が特定できない場合、すでに支払を済ませている場合、支払期限切れの場合等は、エラー画面を表示します。

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	PaypalStartUrl		String	-	支払手続き開始 IF の URL	本番用 https://p01.mul-pay.jp/payment/PaypalStart.idPass テスト環境用 https://pt01.mul-pay.jp/payment/PaypalStart.idPass
2	ShopID		String	13	ショップ ID	
3	AccessID		String	32	取引 ID	

【必須項目の記号】 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時

リダイレクトページサンプル

【リダイレクトページ作成】 を利用することで、雛形内の対応するキーワードがパラメータの値で置き換えられた内容で取得することができます。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="PaypalStart" action="{PaypalStartUrl}" method="POST">
    <noscript>
      <br>
      <br>
      <center>
        <h2>
          Paypal支払開始を続けます。<br>
          ボタンをクリックしてください。
        </h2>
        <input type="submit" value="続行">
      </center>
    </noscript>
    <input type="hidden" name="ShopID" value="{ShopID}">
    <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  </form>
</script>
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.PaypalStart.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

6.1.2.4. リダイレクトページ作成

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払い手続き開始 IF 呼出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doPaypalStart	pagePath, paypalStartParam, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

【PaypalStartParam】

支払い手続き開始 IF 呼出し用の入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath		String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	paypalStartParam		PaypalStartParam	-	支払い手続き開始 IF 呼出し用パラメータ	
	ShopID		String	13	ショップ ID	
	AccessID		String	32	取引 ID	
3	encode		String	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

6.1.2.5. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranPaypal	EntryExecTranPaypalInput	EntryExecTranPaypalOutput	PayPal 決済の取引登録と決済実行 インターフェイスを使用して、決済 を実施します。

【EntryExecTranPaypalInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranPaypalOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

6.2. PayPal 決済の取消を実行する

PayPal 決済では、決済が完了した取引の取消操作が可能です。

取消が可能な期間については、「制限事項一覧」をご参照ください。

6.2.1. PayPal 決済の取消の流れ

以下に、PayPal 決済の取消の流れをご説明します。

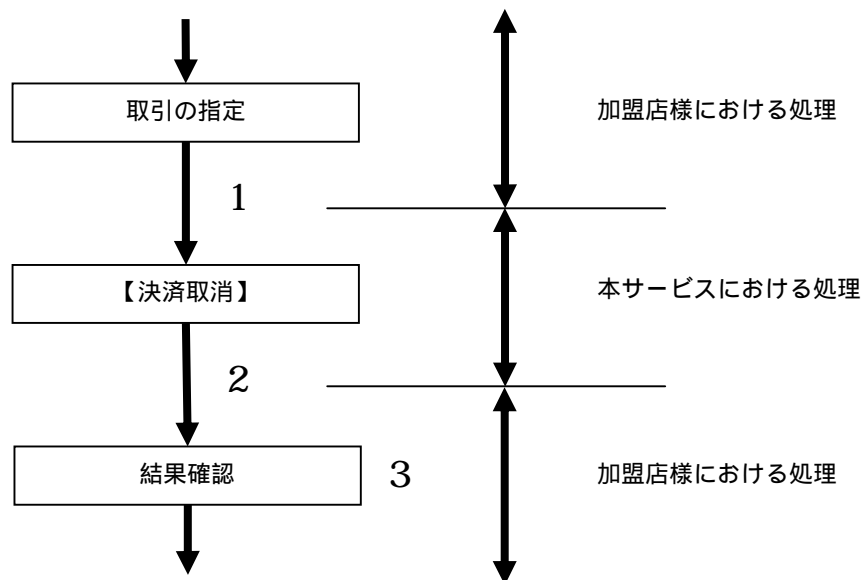


図 6.2.1-1 PayPal 決済の取消の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、取引を指定し本サービスの**【決済取消】**を呼び出します。
2. 本サービスは、PayPalセンターとの通信を行い取消処理を実施し結果を返します。
3. 加盟店様は、取消結果を確認します。

6.2.2. 各インターフェース仕様詳細

6.2.2.1. 決済取消

インタフェース概要

PayPal センターとの通信を行い取引の取消処理を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doCancelTranPaypal	CancelTranPaypalInput	CancelTranPaypalOutput	PayPal 決済の決済取消インターフェイスを使用して、取引の取消処理を行います。

【CancelTranPaypalInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【CancelTranPaypalOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	Amount		Integer	10	利用金額	
7	Tax		Integer	10	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	TranID	-	String	19	トランザクション ID	PayPal から返却された処理番号を返却します。
3	TranDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

7. WebMoney 決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

7.1. WebMoney 決済実行する

購入時にお客様が WebMoney 決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

7.1.1. WebMoney 決済の流れ

以下に、WebMoney 決済の流れをご説明します。

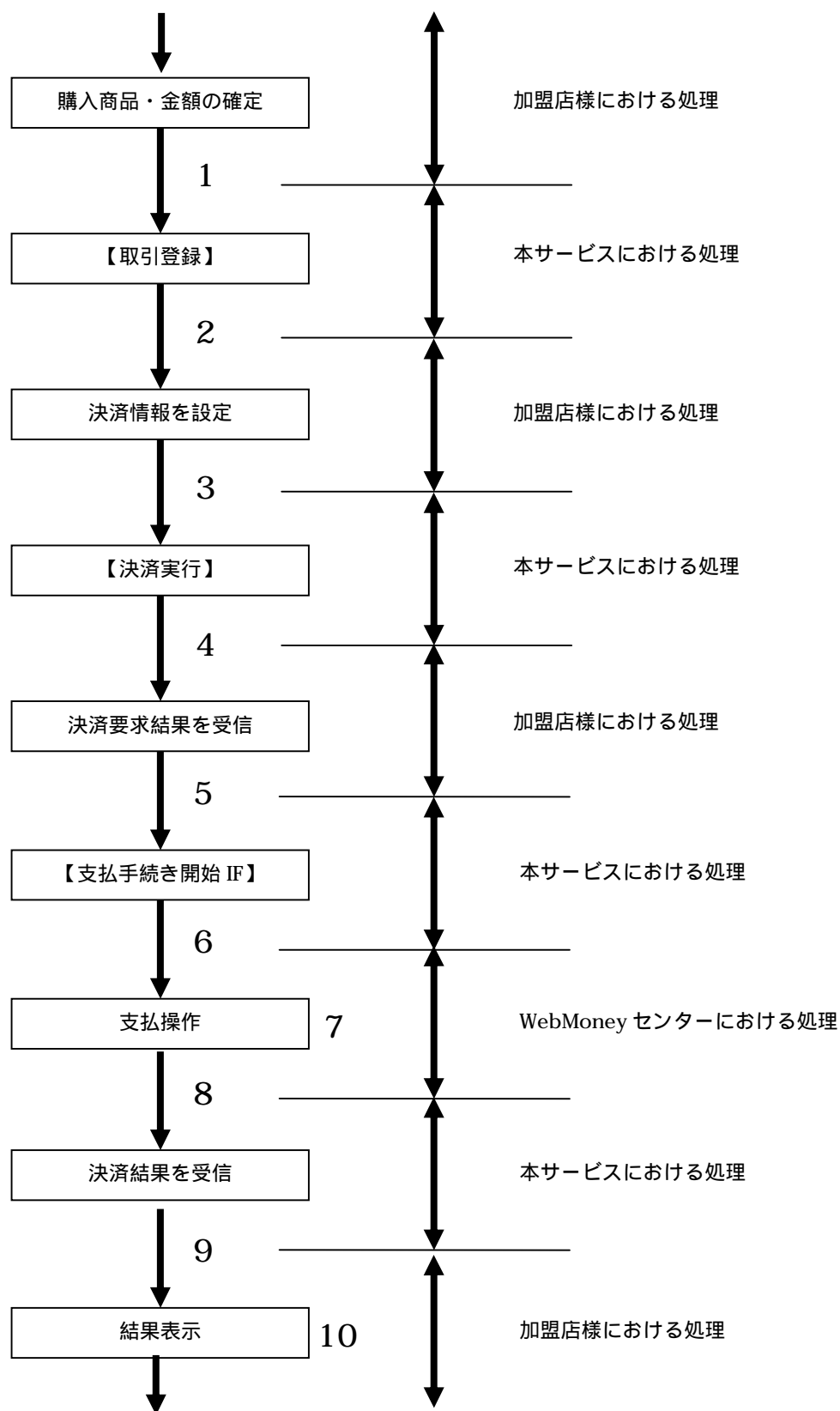


図 7.1.1-1 WebMoney 決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの**【取引登録】**を呼び出します。

2. 本サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し本サービスの【**決済実行**】を呼び出します。
4. 本サービスは、WebMoneyセンターとの通信を行い決済要求結果を返します。
5. 加盟店様は、お客様を本サービスの【**支払手続き開始IF**】に誘導します。

本サービスから送信される決済開始メールによる誘導も可能です。

6. 本サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をWebMoneyセンターの決済画面に誘導します。
7. お客様は、WebMoneyの決済画面にて支払操作を行います。
8. WebMoneyセンターは、決済結果を本サービスに送信します。
9. 本サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
10. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

7.1.2. 各インターフェース仕様詳細

7.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranWebmoney	EntryTranWebmoneyInput	EntryTranWebmoneyOutput	WebMoney 決済の取引登録インターフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranWebmoneyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranWebmoneyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダー ID	
4	Amount		Integer	6	利用金額	
5	Tax		Integer	6	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	OrderID	-	String	27	オーダー ID	
2	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
4	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

7.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

WebMoney センターと通信を行い決済要求結果を返します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranWebmoney	ExecTranWebmoney Input	ExecTranWebmoney Output	WebMoney 決済の決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【ExecTranWebmoneyInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranWebmoneyOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	ItemName		String	40	商品・サービス名	WebMoney の決済画面に表示する商品名を設定。
7	CustomerName		String	40	氏名	お客様の氏名を設定。 決済開始メールに表示。
8	MailAddress		String	256	メールアドレス	決済開始メール送付先のお客様のメールアドレスを設定。
9	ShopMailAddress		String	256	加盟店メールアドレス	お客様への決済開始メールの送信時、加盟店様側に BCC 転送する際の送信先メールアドレス。 呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された加盟店メールアドレスで処理される。
10	PaymentTermDay		Integer	2	支払期限日数	呼出パラメータが空の場合、加盟店情報に設定された支払期限日数で処理される。
11	RedirectURL		String	256	リダイレクト URL	加盟店様が本サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定。 PayPal 上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、本サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信。
12	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
13	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
14	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
15	ClientFieldFlag		String	1	加盟店自由項目返却フラグ	以下のいずれかを設定 0 : 返却しない 1 : 返却する(デフォルト)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
3	TranDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式
4	Checkstring	-	String	32	MD5 ハッシュ	OrderID ~ TranDate+ショップパスワードの MD5 ハッシュ(1)
2	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	「決済実行」時に加盟店自由項目返却フラグが【返却します】の場合のみ返却
3	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
4	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
5	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

1: 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

7.1.2.3. 支払手続き開始 IF の呼出し

処理概要

WebMoney 決済において、お客様を WebMoney の決済画面へと遷移させる必要があります。

本サービスから送信される決済開始メールを利用する場合は、加盟店様で下記内容を実装する必要はありません。

加盟店様のサイトから画面遷移させる場合は、お客様を本サービスの支払手続き開始 IF に誘導してください。

本サービスは、お客様を WebMoney の決済画面に誘導します。

取引が特定できない場合、すでに支払を済ませている場合、支払期限切れの場合等は、エラー画面を表示します。

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	WebmoneyStartUrl		String	-	支払 手続き 開始 IF の URL	本番用 https://p01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass テスト環境用 https://pt01.mul-pay.jp/payment/WebmoneyStart.idPass
2	AccessID		String	32	取引 ID	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページサンプル

【リダイレクトページ作成】 を利用することで、雛形内の対応するキーワードがパラメータの値で置き換えられた内容で取得することができます。

```
<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name="WebmoneyStart" action="{WebmoneyStartUrl}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        WebMoneyの決済画面に遷移します。<br>
        ボタンをクリックしてください。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document.WebmoneyStart.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>
```

上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

7.1.2.4. リダイレクトページ作成

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払い手続き開始 IF 呼出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doWebmoneyStart	pagePath, accessid, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath		String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid		String	32	取引 ID	
3	encode		String	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

7.1.2.5. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranWebmoney	EntryExecTranWebmoneyInput	EntryExecTranWebmoneyOutput	WebMoney 決済の取引登録と決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranWebmoneyInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranWebmoneyOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

8. au かんたん決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

8.1. au かんたん決済実行する

購入時にお客様が au かんたん決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

8.1.1. au かんたん決済の流れ

以下に、au かんたん決済の流れをご説明します。

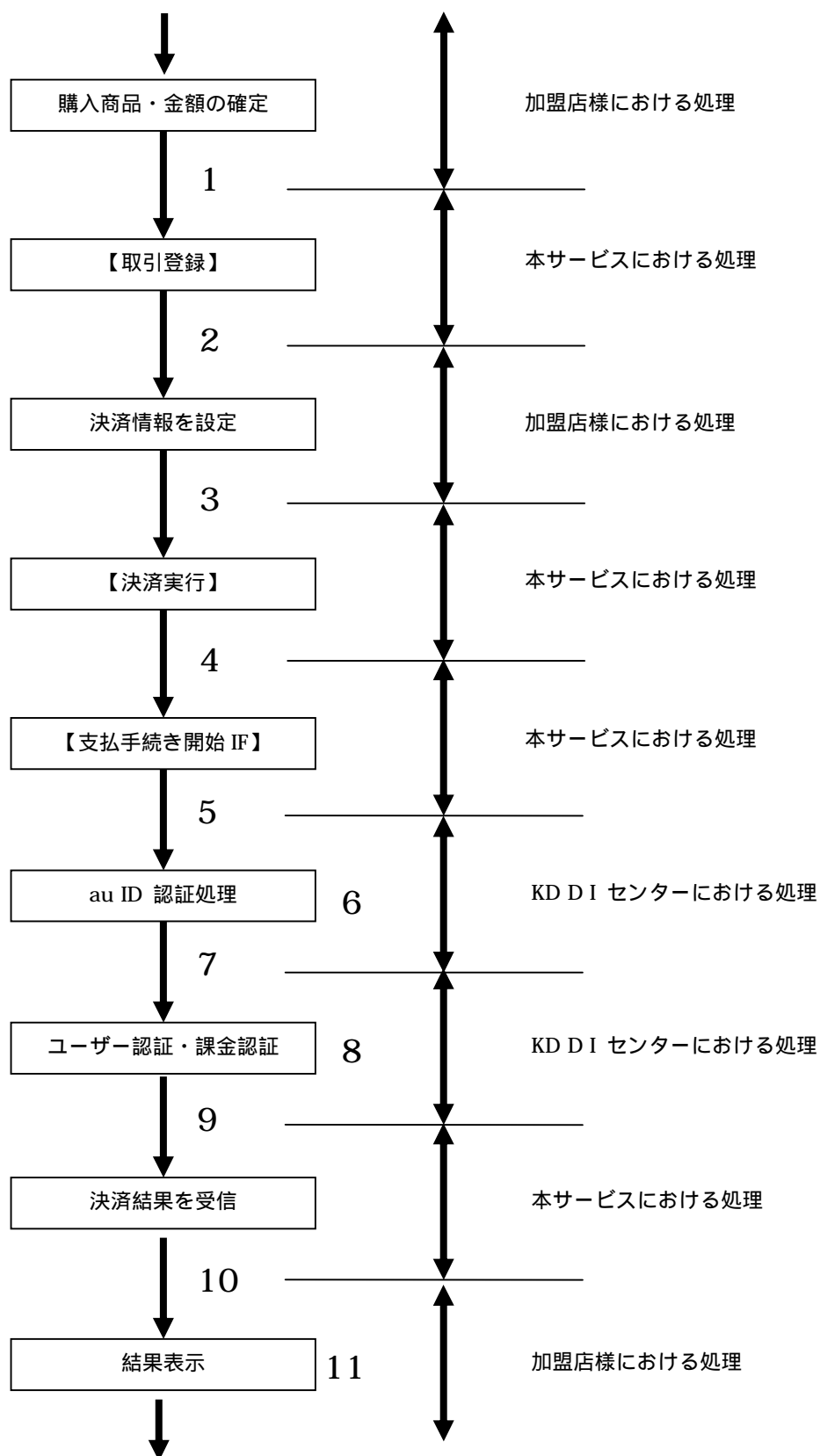


図 8.1.1-1au かんたん決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し本サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を本サービスの【支払手続き開始IF】に誘導します。
5. 本サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をKDDIセンターのau ID認証画面に誘導します。
6. お客様は、KDDIセンターのau ID認証画面にてIDの連携を行います
7. 本サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をKDDIセンターの決済画面に誘導します
8. お客様は、auかんたん決済の決済画面にて支払操作を行います
9. KDDIセンターは、決済結果を本サービスに送信します。
10. 本サービスは、リダイレクト経由で、決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

8.1.2. 各インターフェース仕様詳細

8.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranAu	EntryTranAuInput	EntryTranAuOutput	au かんたん決済の取引登録インターフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranAuInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranAuOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダー ID	
4	JobCd		String	-	処理区分	AUTH: 仮売上 CAPTURE: 即時売上
5	Amount		Integer	7	利用金額	利用金額+税送料で 1 円以上 9,999,999 円以下である必要があります。
6	Tax		Integer	7	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ : 同一オーダー ID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

8.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranAu	ExecTranAuInput	ExecTranAuOutput	au かんたん決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranAuInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranAuOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	SiteID		String	13	サイト ID	会員 ID 指定時は必須
7	SitePass		String	20	サイト Pass	会員 ID 指定時は必須
8	MemberID		String	60	会員 ID	
9	MemberName		String	255	会員名	
10	CreateMember		String	1	会員作成フラグ	<p>会員が存在しない場合の動作を指定します。</p> <p>0：登録しない。</p> <p>会員が存在しない場合、エラーを返す</p> <p>1：登録する。</p> <p>会員が存在しない場合、新規登録する</p> <p>会員 ID 指定時は必須</p>
11	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
12	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
13	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
14	Commodity		String	48	摘要	<p>お客様が購入する商品の情報を設定。KDDI センターでの決済時に表示される。</p> <p>設定可能な文字は「全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。</p>
15	RetURL		String	256	決済結果戻し URL	<p>加盟店様が本サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定。</p> <p>KDDI センター上でお客様が認証、支</p>

						払操作をキャンセルした場合や、本サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信。
16	PaymentTermSec		Integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き完了 IF】を呼び出すまでの期限。 最大 86,400 秒（1 日） 呼出パラメータが空の場合、120 秒で処理される
17	ServiceName		String	48	表示サービス名	加盟店様のサービス名称。 お客様の購入履歴などに表示される。 設定可能な文字は「全角文字」となります。全角文字についての詳細は、「別紙：制限事項一覧」を参照下さい。
18	ServiceTel		String	15	表示電話番号	加盟店様の電話番号。 お客様の購入履歴などに表示される。 設定可能な文字は「半角数字と“-”（ハイフン）」となります。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	
2	Token	-	String	256	トークン	
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	
4	StartLimitDate	-	String	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】
1: 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

8.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。

続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTransAu	EntryExecTransAuInput	EntryExecTransAuOutput	Au かんたん決済の取引登録と決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTransAuInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。

入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranAuOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。

出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

8.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼出し

処理概要

au かんたん決済において、お客様を KDDI センターの au one-ID 認証画面へと遷移させる必要があります。

取引が特定できない場合、すでに支払を済ませている場合、支払期限切れの場合等は、エラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払い手続き開始 IF 呼出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doAuStart	pagePath, startURL, accessid, token, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath		String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	startURL		String	256	支払手続き開始 IF の URL	
3	accessid		String	32	取引 ID	
4	token		String	256	トークン	
5	encode		String	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータをご参照ください。

```

<html>
<head>
<meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
<form name="AuStart" action="{StartURL}" method="POST">
<noscript>
<br>
<br>
<center>
<h2>
auかんたんの決済画面に遷移します。<br>
ボタンをクリックしてください。
</h2>
<input type="submit" value="続行">
</center>
</noscript>
<input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
<input type="hidden" name="Token" value="{Token}">
</form>
<script >
<!--
function OnLoadEvent() {
document. AuStart.submit();
}
//-->
</script>
</body>
</html>

```

上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様 本サービス)

以下のパラメータを本サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	
2	Token		String	256	トークン	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

8.1.2.5. 決済結果受信

処理概要

KDDI センターから、本サービスに認証・支払操作結果が通知されます。

認証・支払操作結果は、お客様が支払操作を完了した場合と認証・支払操作をキャンセルした場合に通知されます。

ブラウザを×ボタンで閉じた場合は、通知されません。

本サービスは、【決済実行】時に指定されたりダイレクト URL に決済結果を通知します。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

各パラメータを POST で送信します。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	備考
1	ShopID	-	CHAR	13	ショップ ID	該当取引のショップ ID を返却します。
2	OrderID	-	CHAR	27	オーダーID	該当取引のオーダーID を返却します。
3	Status	-	CHAR	-	現状態	該当取引の取引状態を返却します。 REQSUCCESS：要求登録 AUTHPROCESS：認証中 AUTH：仮売上完了 CAPTURE：即時売上完了 PAYFAIL：決済失敗
4	TranDate	-	CHAR	14	処理日時	本サービスで処理を実施した日時を返却します。 yyyyMMddHHmmss 書式
5	PayInfoNo	-	CHAR	16	決済情報番号	オーソリ処理が正常終了した時に振り出される番号です。 お客様が au ID 画面で確認できます。
6	PayMethod	-	CHAR	2	支払方法	支払方法です。 01：合算 02：クレジットカード 03：WebMoney お客様が au one-ID 画面で確認できます。
7	ErrCode	-	CHAR	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (1)
8	ErrInfo	-	CHAR	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を設定します。 複数ある場合は" "で接続された文字列 (1)

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

1 : 複数エラーがある場合は下記のような形式にて出力されます。(必ず、ErrCode の n 番目と ErrInfo の n 番目が対となります)

ErrCode=WM1|WM1

ErrInfo=WM1000007|WM1000008

8.2. 決済の内容をキャンセル・返品する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容をキャンセル・返品することが可能です。

- 精算後（売上確定した翌月以降）のキャンセルは、返品となります。
- Webmoneyのキャンセル・返品はできません。
- 返品の場合、返品手数料が請求されます。
- 返品の場合、実売上した金額以内で、一部返品が可能です。
- 返品は、1オーダーIDにつき1度のみ可能です。一部返品したオーダーについて、追加の返品は出来ません。

キャンセル可能期間は、以下の通りです。

- 仮売上のキャンセル：仮売上後90日以内
- 実売上のキャンセル：実売上処理した月内

返品可能期間は、以下の通りです。

- 売上確定月の翌月から翌々月末日まで

8.2.1. 決済内容をキャンセル・返品する流れ

以下に決済の内容をキャンセル・返品する流れをご説明します。

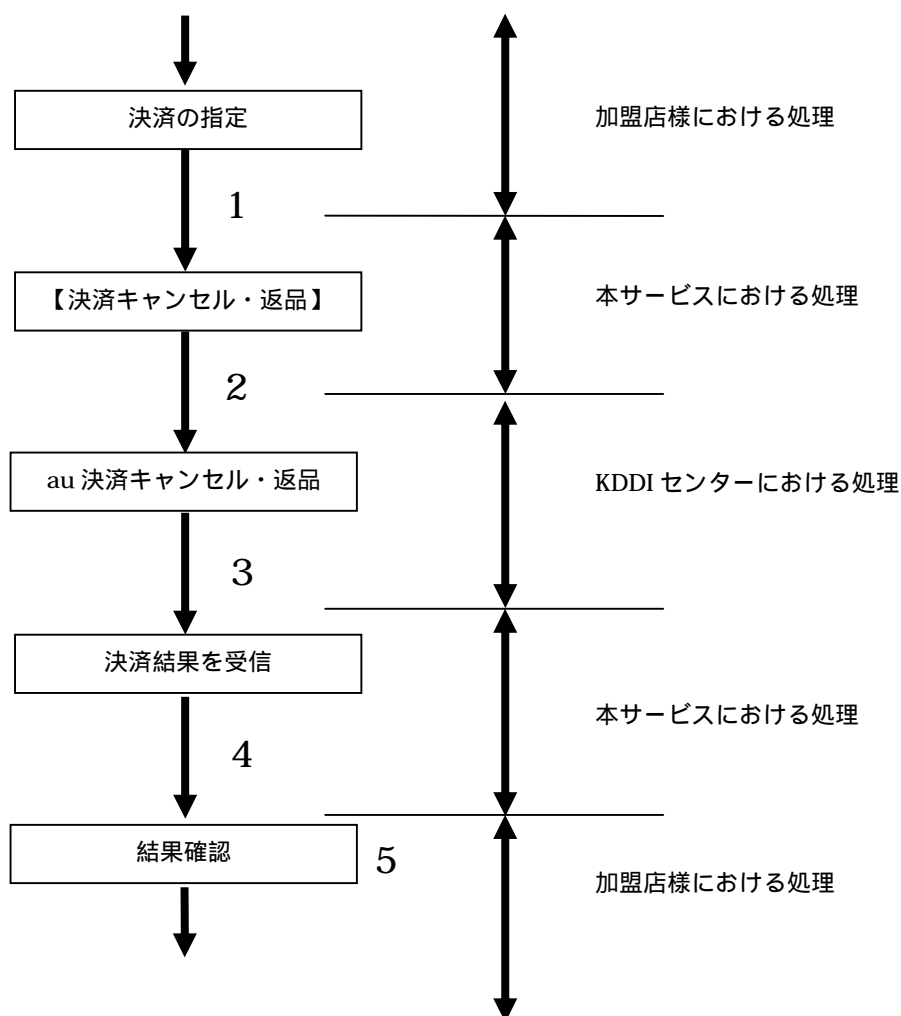


図 8.2.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの【決済キャンセル・返品】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引のキャンセル・返品リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、のキャンセル・返品結果を本サービスに送信します。
4. 本サービスは、キャンセル・返品結果を返します。
5. 加盟店様は、決済キャンセル・返品の結果を確認します。

8.2.2. 各インタフェース仕様詳細

8.2.2.1. 決済キャンセル・返品

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doAuCancelReturn	AuCancelReturnInput	AuCancelReturnOutput	プロトコルタイプの決済キャンセル・返品インターフェイスを使用します。

【AuCancelReturnInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuCancelReturnOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	CancelAmount		Integer	7	キャンセル金額	
7	CancelTax		Integer	7	キャンセル税送料	キャンセル金額+キャンセル税送料をキャンセル金額とします。(1 円以上) キャンセル金額はオーソリ時の金額を指定してください。 0 円の場合はエラーとする。 精算後(売上確定した翌月以降)のキャンセルのみ一部返品可能です。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	
2	Status	-	String	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL : キャンセル ・ RETURN : 返品 キャンセル・返品失敗時はキャンセル・返金処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。

						例) 利用金額 5000 円よりキャンセル金額 3000 円 => 利用金額 2000 円
4	Tax	-	Integer	7	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円よりキャンセル税送料 150 円 => 税送料 100 円
5	CancelAmount	-	Integer	7	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	Integer	7	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

1 : 出力内容の OrderID ~ TranDate とショップパスワードをベースにしたハッシュ値

8.3. 売上の確定を行う

仮売上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- 仮売上可能期間は、仮売上後90日以内です。
- オーソリした金額以内で、金額を指定した実売上が可能です。
- 実売上は、1 オーダーIDにつき 1 度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上する事はできません。
- 合算決済の場合のみ一部売上確定可能です。

詳細は、「1.2.1 取引について」の内容をご参照下さい

8.3.1. 実売上を行う流れ

以下に実売上を行う流れを説明致します。

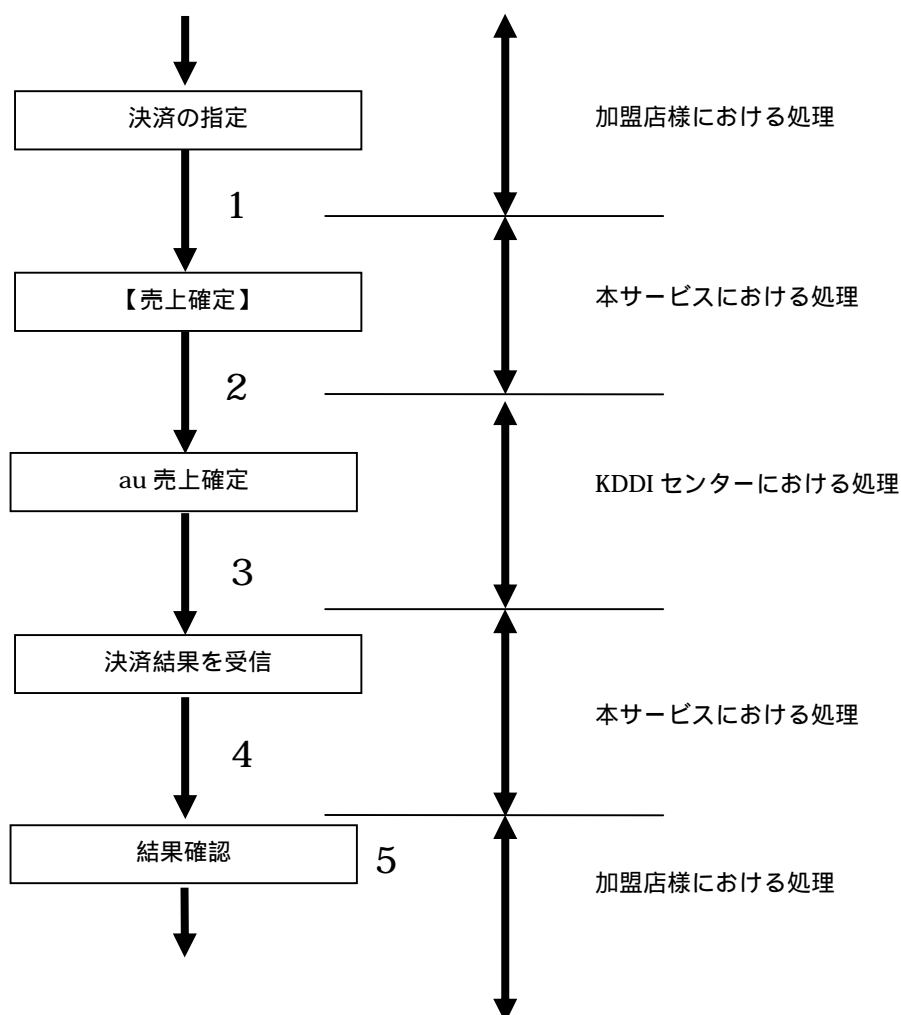


図 8.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの【売上確定】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の売上確定リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、売上確定結果を本サービスに送信します。
4. 本サービスは、売上確定結果を返します。
5. 加盟店様は、売上確定結果をお客様に表示します。

8.3.2. 各インタフェース仕様詳細

8.3.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doAuSales	AuSalesInput	AuSalesOutput	プロトコルタイプの売上確定インタフェースを使用します。

【AuSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【AuSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	Amount		Integer	7	利用金額	
7	Tax		Integer	7	税送料	利用金額 + 税送料が売上金額となります (1 円以上) 0 円の場合はエラーとします。 オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。 オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダー ID	
2	Status	-	String	-	現状態	売上確定成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES 売上確定失敗時は売上確定処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Integer	7	利用金額	売上確定した利用金額を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	売上確定した税送料を返却します。
5	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。

						エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
		ErrCode	-	String	3	エラーコード エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
		ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

8.4. OpenID 解除を行う

サイト ID、会員 ID を指定すると、該当会員の OpenID 解除を行います。お客様のサービス停止や新しい OpenID の取得が必要になった場合に、OpenID 解除を行ってください。

8.4.1. OpenID 解除を行う流れ

以下に OpenID 解除を行う流れを説明致します。

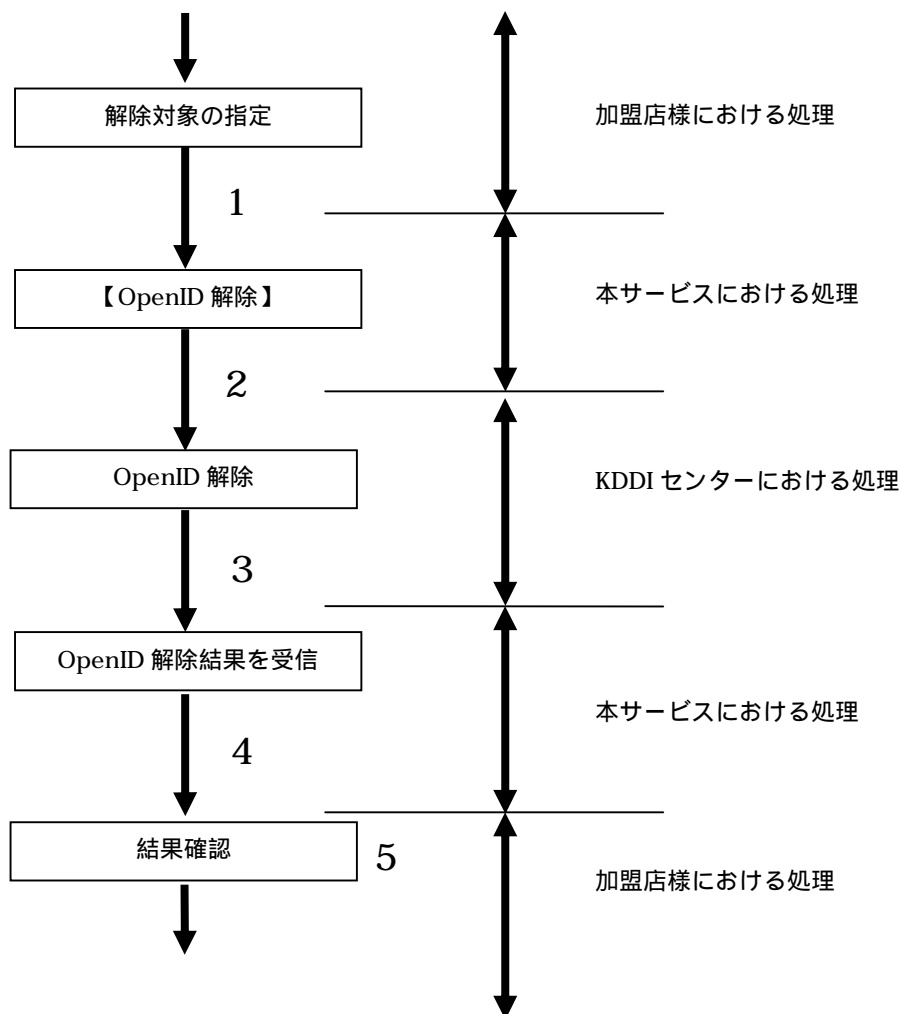


図 8.4.1-1 OpenID 解除の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、OpenID を解除するサイト ID とサイトパスワードと会員 ID を指定し、本サービスの【OpenID 解除】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された会員の OpenID 解除リクエストを KDDI センターに送信します。
3. KDDI センターは、OpenID 解除結果を本サービスに送信します。
4. 本サービスは、OpenID 解除結果を返します。
5. 加盟店様は、OpenID 解除結果を確認します。

8.4.2. 各インタフェース仕様詳細

8.4.2.1. OpenID 解除インタフェース仕様詳細

インタフェース概要

OpenID 解除を行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doDeleteAuOpenID	DeleteAuOpenIDInput	DeleteAuOpenIDOutput	プロトコルタイプの OpenID 解除インターフェイスを使用します。

【DeleteAuOpenIDInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DeleteAuOpenIDOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	SiteID		String	13	サイト ID	
2	SitePass		String	20	サイトパスワード	
3	MemberID		String	60	会員 ID	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	SiteID	-	String	13	サイト ID	OpenID 解除が正常終了の場合は指定された SiteID が返却されます。
2	MemberID	-	String	60	会員 ID	OpenID 解除が正常終了の場合は指定された MemberID が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。エラーコード・エラー詳細コードを保持します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

9. ドコモケータイ払い決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

9.1. ドコモケータイ払い決済実行する

購入時にお客様がドコモケータイ払い決済に必要な情報を入力してから決済依頼します。

9.1.1. ドコモケータイ払い決済の流れ

以下に、ドコモケータイ払い決済の流れをご説明します。

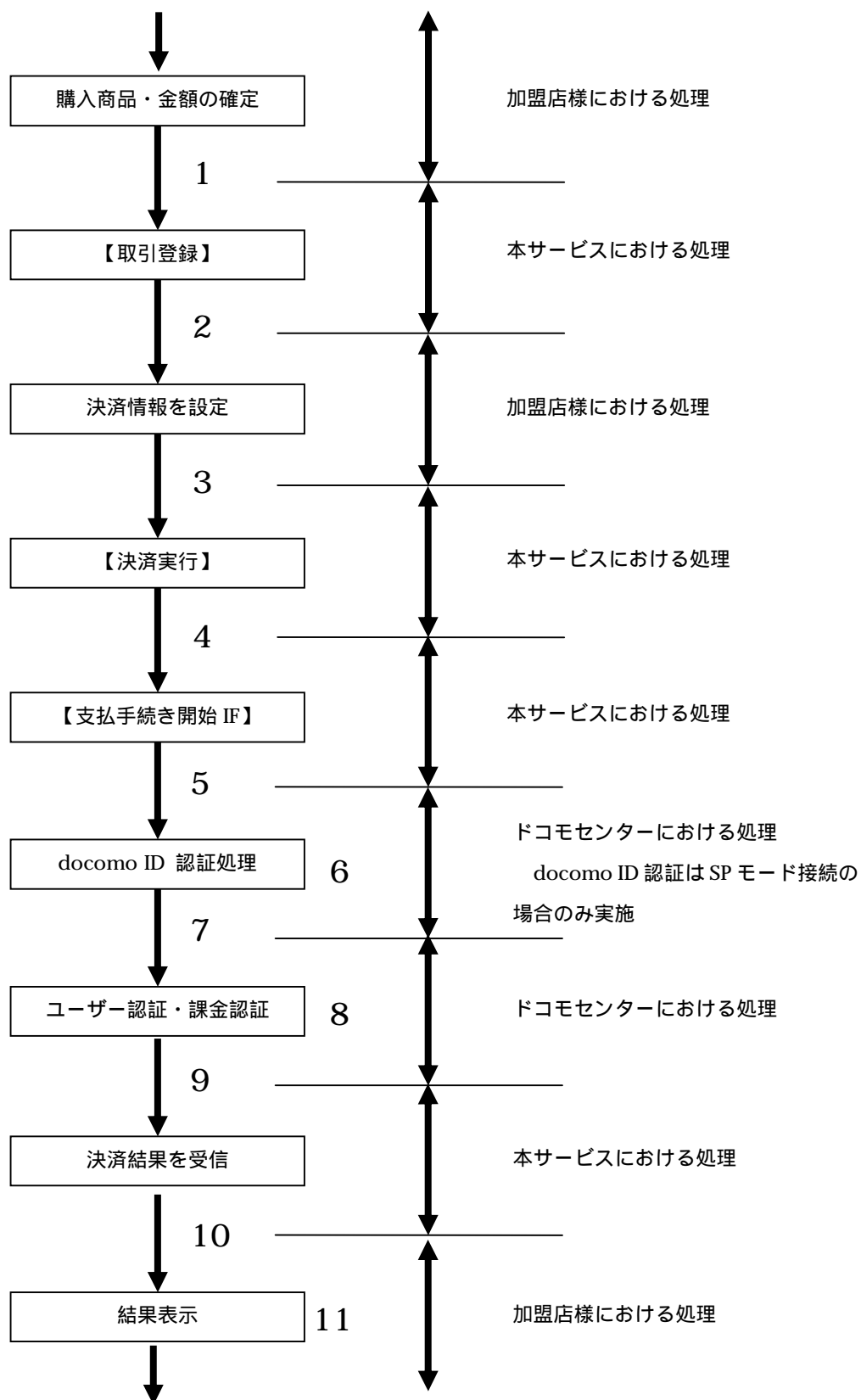


図 9.1.1-1 ドコモケータイ払い決済の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、確定された金額をもって本サービスの【取引登録】を呼び出します。
2. 本サービスは、取引を識別するIDとパスワードを発行し返します。
3. 加盟店様は、決済情報を設定し本サービスの【決済実行】を呼び出します。
4. 加盟店様は、お客様を本サービスの【支払手続き開始IF】に誘導します。
5. 本サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターのdocomo ID認証画面に誘導します。

docomo ID認証はSPモード接続の場合のみ実施

6. お客様は、ドコモセンターのdocomo ID認証画面にてIDの連携を行います
7. 本サービスは、リダイレクト機能を使用し、お客様をドコモセンターの決済画面に誘導します
8. お客様は、ドコモケータイ払い決済の決済画面にて支払操作を行います
9. ドコモセンターは、決済結果を本サービスに送信します。
10. 本サービスは、リダイレクト経由で決済結果を返します。
11. 加盟店様は、決済結果をお客様に表示します。

9.1.2. 各インターフェース仕様詳細

9.1.2.1. 取引登録

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となる取引 ID と取引パスワードの発行を行い、取引を開始します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryTranDocom o	EntryTranDocomIn put	EntryTranDocomoO utput	ドコモケータイ払い決済の取引登録インターフェースを使用して、取引を開始します。

【EntryTranDocomoInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【EntryTranDocomoOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	OrderID		String	27	オーダーID	
4	JobCd		String	-	処理区分	AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上
5	Amount		Integer	6	利用金額	税送料を指定した場合は、利用金額 + 税送料が決済金額となります。
6	Tax		Integer	6	税送料	ドコモ料金合算払いの上限：10,000 円 お客様のご利用状況によって 30,000 円となります。 ドコモ口座払いの上限：500,000 円

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白：省略可能 -：出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID	-	String	32	取引 ID	取引登録成功時のみ ：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
2	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	取引登録成功時のみ ：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
3	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する

	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

9.1.2.2. 決済実行

インタフェース概要

これ以降の決済取引で必要となるトークンを返却します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doExecTranDocomo	ExecTranDocomoInput	ExecTranDocomoOutput	ドコモケータイ払い決済の決済実行インタフェースを使用して、決済を実施します。

【ExecTranDocomoInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【ExecTranDocomoOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	ClientField1		String	100	加盟店自由項目 1	
7	ClientField2		String	100	加盟店自由項目 2	
8	ClientField3		String	100	加盟店自由項目 3	
9	DocomoDisp1		String	40	ドコモ表示項目 1	sp モードの場合のみ、以下のドコモケータイ払い画面に表示されます。
10	DocomoDisp2		String	40	ドコモ表示項目 2	<ul style="list-style-type: none"> 決済内容確認画面 利用明細 商品の詳細説明や、お客様へのメッセージなどにご使用ください。 改行が必要な場合は表示項目 1、表示項目 2 に分けて設定してください。 設定可能な文字は「別紙：制限事項一覧」で禁止している文字に加え ["].[' ¥ /]以外となります。
11	RetURL		String	256	決済結果戻し URL	加盟店様が本サービスからの決済結果を受信する為の結果受信 URL を設定します。 ドコモセンター上でお客様が認証、支払操作をキャンセルした場合や、本サービスにて決済処理を実行した場合に指定された URL に結果をリダイレクト経由で送信されます。

12	PaymentTermSec		Integer	5	支払開始期限秒	お客様が【決済実行】から【支払手続き完了 IF】を呼び出すまでの期限。 最大 86,400 秒（1 日） 呼出パラメータが空の場合、120 秒で処理される
----	----------------	--	---------	---	---------	---

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】
設定可能な文字については「表 1.1-1 入出力項目の定義」を参照して下さい。

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	AccessID	-	String	32	アクセス ID	
2	Token	-	String	256	トークン	
3	StartURL	-	String	256	支払手続き開始 IF の URL	
4	StartLimitDate	-	String	14	支払開始期限日時	yyyyMMddHHmmss 書式
5	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

9.1.2.3. 登録・決済実行

インタフェース概要

「取引登録」を呼び出し、取引を開始します。
続いて「決済実行」を呼び出し、決済を実行します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doEntryExecTranDococomo	EntryExecTranDocoInput	EntryExecTranDocoOutput	ドコモケータイ払い決済の取引登録と決済実行インターフェイスを使用して、決済を実施します。

【EntryExecTranDocoInput】

取引登録の入力パラメータ、ならびに決済実行の入力パラメータを格納します。
入力パラメータのアクセサを持ちます。

【EntryExecTranDocoOutput】

取引登録の出力パラメータ、ならびに決済実行の出力パラメータを格納します。
出力パラメータのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店 本サービス)

「取引登録」「決済実行」の入力パラメータを参照してください。

出力パラメータ(本サービス 加盟店)

「取引登録」「決済実行」の出力パラメータを参照してください。

9.1.2.4. 支払手続き開始 IF の呼出し

処理概要

お客様の ISP によって本システムの誘導先が異なります。

- ・ ISP が SP モード、I モードの場合

本システムは、お客様をドコモセンターのユーザー認証・課金認証へ誘導します。

- ・ それ以外の場合

本システムは、お客様をドコモセンターの docomo ID でケータイ送信画面へ誘導します。

取引が特定できない場合、すでに支払を済ませている場合、支払期限切れの場合等は、エラー画面を表示します。

インタフェース概要

雛形のページの内容をもとに、支払い手続き開始 IF 呼出し用のリダイレクトページを作成します。

インタフェース詳細

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doDocomoStart	pagePath, docomoStartInput, encode	String	雛形ページの内容をもとに、リダイレクト用 HTML ページを作成します。

入力パラメータ

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	pagePath		String	-	雛形ページファイルへのパス	雛形となるページのファイルへのパス
2	accessid		String	32	取引 ID	
3	token		String	256	トークン	
4	encode		String	-	リダイレクトページの文字コード	雛形ページファイルの読み込みの際に使用する文字コード

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページ作成結果

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	-	-	String	-	リダイレクトページ	リダイレクトページの文字列

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

リダイレクトページサンプル

以下のリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

リダイレクトページをカスタマイズされる場合は、後述のリダイレクトページパラメータをご参照ください。

```

<html>
<head>
  <meta http-equiv="Content-Type" content="text/html; charset=Windows-31J">
</head>
<body OnLoad='OnLoadEvent();'>
  <form name=" DocomoStartCall " action="{DocomoStartURL}" method="POST">
  <noscript>
    <br>
    <br>
    <center>
      <h2>
        ドコモケータイ払いの決済画面へ遷移します。
      </h2>
      <input type="submit" value="続行">
    </center>
  </noscript>
  <input type="hidden" name="AccessID" value="{AccessID}">
  <input type="hidden" name="Token " value="{Token}">
</form>
<script >
<!--
  function OnLoadEvent() {
    document. DocomoStartCall.submit();
  }
  //-->
</script>
</body>
</html>

```

上記ソースはあくまでサンプルです。全てのブラウザ等で動作保証は致しませんのでご注意ください。

リダイレクトページパラメータ(加盟店様 本サービス)

以下のパラメータを本サービスリダイレクトページのサンプルをご参考に呼び出しを行って下さい。

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	AccessID		String	32	取引 ID	
2	Token		String	256	トークン	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

9.2. 決済の内容をキャンセル・返品する

決済が完了した取引の取引 ID・取引パスワードを指定すると、以前に実施した決済内容をキャンセル・返品することが可能です。

- 即時売上、実売上を実施した、翌日の12:00以降にキャンセル・返品が可能になります。ドコモセンターは20:00までに正常に受付けた取引を当日分として処理します。
- 即時売上、実売上データのキャンセル・返品を同日に実行することはできません。
- すでに利用者に対しドコモから代金請求済みの場合、返品扱い(マイナス請求)となります。
- キャンセル・返品可能期間は取引が発生した翌々月末20:00までです。
- 取引の現状態が即時売上、実売上の場合、一部キャンセル・返品が可能です

9.2.1. 決済内容をキャンセル・返品する流れ

以下に決済の内容をキャンセル・返品する流れをご説明します。

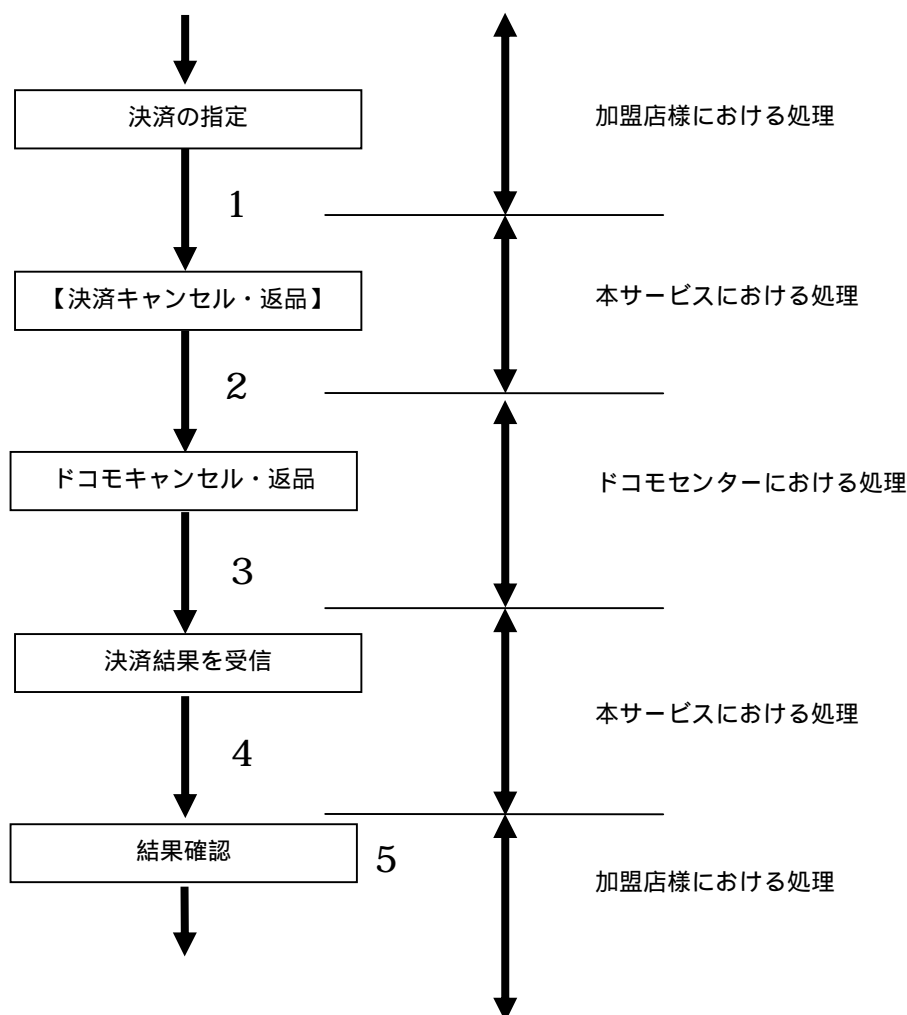


図 9.2.1-1 決済キャンセル・返品の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、キャンセル・返品する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの【決済キャンセル・返品】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引のキャンセル・返品リクエストをドコモセンターに送信します。

- ドコモセンターは、キャンセル・返品結果を本サービスに送信します。
- 本サービスは、キャンセル・返品結果を返します。
- 加盟店様は、決済キャンセル・返品の結果を確認します。

9.2.2. 各インタフェース仕様詳細

9.2.2.1. 決済キャンセル・返品

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doDocomoCancelReturn	DocomoCancelReturnInput	DocomoCancelReturnOutput	プロトコルタイプの決済キャンセル・返品インターフェイスを使用します。

【DocomoCancelReturnInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DocomoCancelReturnOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	CancelAmount		Integer	6	キャンセル金額	キャンセル金額 + キャンセル税送料をキャンセル金額とします。(1 円以上)
7	CancelTax		Integer	6	キャンセル税送料	例) 請求 525 円より全額キャンセル キャンセル金額: 525 請求 525 円より 210 円分キャンセル キャンセル金額: 210

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダーID	加盟店様が取引を識別するための値を設定します。
2	Status	-	String	-	現状態	キャンセル・返品成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ CANCEL: キャンセル キャンセル・返品失敗時はキャンセル・返金処理前のステータスが返却されます。

3	Amount	-	Integer	6	利用金額	利用金額からキャンセル金額を減算した結果を返却します。 例) 利用金額 5000 円よりキャンセル金額 3000 円 => 利用金額 2000 円
4	Tax	-	Integer	6	税送料	税送料からキャンセル税送料を減算した結果を返却します。 例) 税送料 250 円よりキャンセル税送料 150 円 => 税送料 100 円
5	CancelAmount	-	Integer	6	キャンセル金額	キャンセル金額を返却します。
6	CancelTax	-	Integer	6	キャンセル税送料	キャンセル税送料を返却します。
7	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ エラー情報をリストで保持する
	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ 内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持する
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ エラー情報内に収められる

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

9.3. 売上の確定を行う

仮売上上の決済の取引 ID・取引パスワードを指定すると、売上上の確定処理(以下、実売上)が可能です。

- 実売上可能期間は、取引登録した翌々月末20時までです。
- オーソリ時の金額を減額して実売上が可能です。
- 実売上は、1 オーダーIDにつき 1 度のみ実行可能です。減額して実売上を行った場合、残分を再度実売上する事はできません。

9.3.1. 実売上を行う流れ

以下に実売上を行う流れを説明致します。

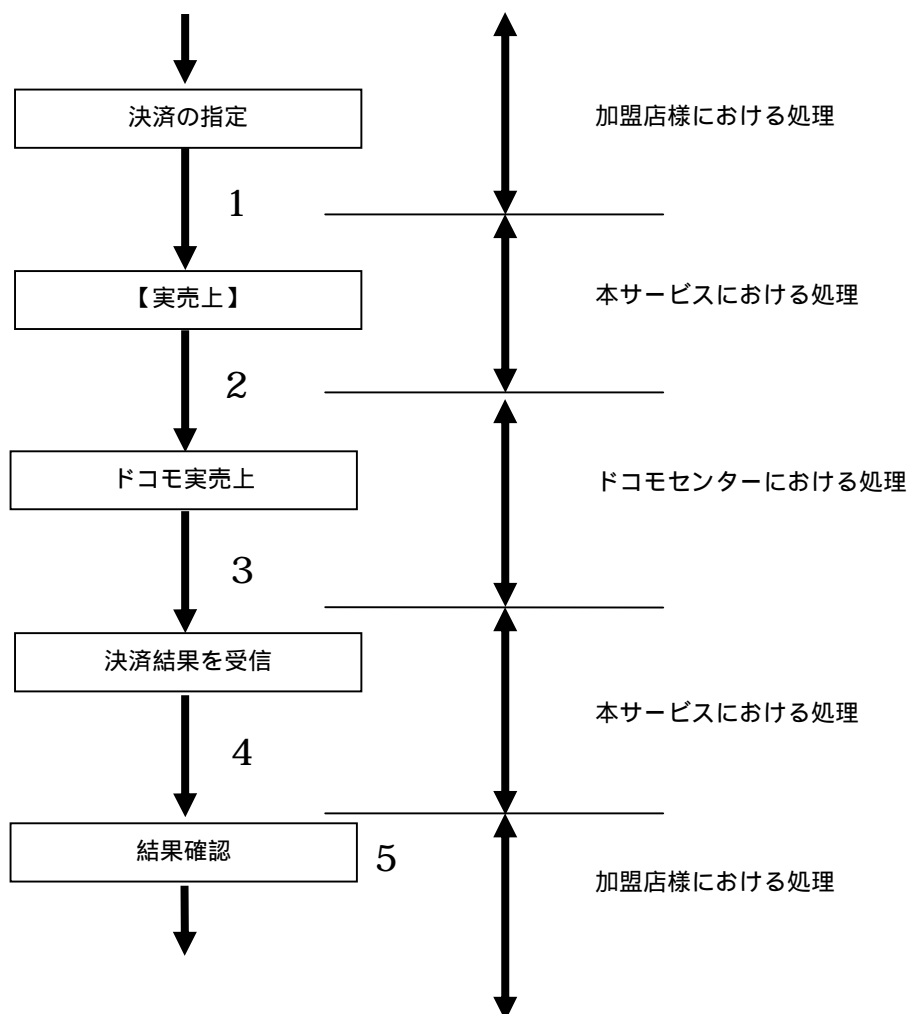


図 9.3.1-1 実売上の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、実売上する取引の取引 ID と取引パスワードを指定し、本サービスの**【実売上】**を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の実売上リクエストをドコモセンターに送信します。
3. ドコモセンターは、実売上結果を本サービスに送信します。
4. 本サービスは、実売上結果を返します。

5. 加盟店様は、実売上結果をお客様に表示します。

9.3.2. 各インタフェース仕様詳細

9.3.2.1. 実売上

インタフェース概要

仮売上の決済に対して実売上を行います。尚、実行時に仮売上時との金額チェックを行います。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doDocomoSales	DocomoSalesInput	DocomoSalesOutput	プロトコルタイプの実売上インターフェイスを使用します。

【DocomoSalesInput】

入力パラメータ(後述) を格納するためのアクセサを持ちます。

【DocomoSalesOutput】

出力パラメータ(後述) を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	ShopID		String	13	ショップ ID	
2	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
3	AccessID		String	32	取引 ID	【取引登録】で発行された値
4	AccessPass		String	32	取引パスワード	【取引登録】で発行された値
5	OrderID		String	27	オーダーID	
6	Amount		Integer	6	利用金額	利用金額 + 税送料が売上金額となります (1 円以上) 合計が 0 円の場合はエラーとします。 オーソリ時より大きい金額の場合はエラーとします。 オーソリ時と異なる金額の場合は、指定された金額で売上を確定します。
7	Tax		Integer	6	税送料	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	説明
1	OrderID	-	String	27	オーダー ID	
2	Status	-	String	-	現状態	実売上成功時は以下のステータスが返却されます。 ・ SALES 実売上失敗時は実売上処理前のステータスが返却されます。
3	Amount	-	Integer	8	利用金額	実売上した利用金額を返却します。
4	Tax	-	Integer	7	税送料	実売上したを税送料を返却します。
5	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。

	ErrHolder	-	ErrHolder	-	エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。 エラーコード・エラー詳細コードを保持 します。
	ErrCode	-	String	3	エラーコード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
	ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白: 省略可能 -: 出力時】

10. マルチ決済インタフェース仕様

ここでは、各目的に対して処理の流れと使用するインタフェース詳細についてご説明します。

10.1. 決済結果を参照する

オーダーID を指定すると、該当の決済結果を取得すること(以下、取引状態参照)が可能です。通信障害でタイムアウトが発生した場合等で決済結果が取得できなかった場合は、本インターフェースにて取得して下さい。

10.1.1. 取引状態参照の流れ

下に決済の結果を参照する流れをご説明します。

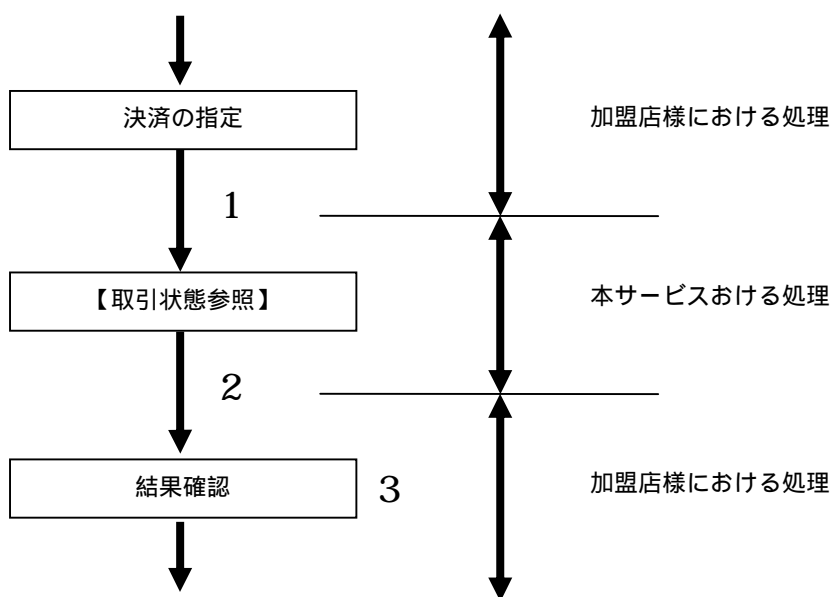


図 10.1.1-1 取引状態参照の流れ

流れの説明

1. 加盟店様は、参照する取引のオーダーID を指定し本サービスの【取引状態参照】を呼び出します。
2. 本サービスは、指定された取引の内容を取得して返します。
3. 加盟店様は、取引の結果を確認します。

10.1.2. 各インターフェース仕様詳細

10.1.2.1. 取引状態参照

インタフェース概要

指定したオーダーID の取引情報を取得します。

インタフェース詳細

以下の API を使用します。

【PaymentClient】

No	メソッド名	引数	戻り値	概要
1	doSearchTradeMulti	SearchTradeMultiInput	SearchTradeMultiOutput	マルチ決済タイプの取引登録インターフェイスを使用して、取引を開始します。

【SearchTradeMultiInput】

入力パラメータ(後述)を格納するためのアクセサを持ちます。

【SearchTradeMultiOutput】

出力パラメータ(後述)を参照するためのアクセサを持ちます。

入力パラメータ(加盟店様 本サービス)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	PayType		String	1	決済方法	0 : クレジット 1 : モバイル Suica 2 : Mobile Edy 3 : コンビニ 4 : Pay-easy 5 : PayPal 7 : WebMoney 8 : au かんたん 9 : ドコモケータイ払い
2	ShopID		String	13	ショップ ID	
3	ShopPass		String	10	ショップパスワード	
4	OrderID		String	27	オーダーID	

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】

出力パラメータ(本サービス 加盟店様)

No	パラメータ名	必須	型	桁	意味	概要
1	Status	-	String	-	現状態	<p>以下のいずれかが返却されます。</p> <p>カード決済時 UNPROCESSED：未決済 AUTHENTICATED：未決済(3D 登録済) CHECK：有効性チェック CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SALES：実売上 VOID：取消 RETURN：返品 RETURNX：月跨り返品 SAUTH：簡易オーソリ</p> <p>カード以外の決済時 UNPROCESSED：未決済 REQSUCCESS：要求成功 AUTHPROCESS：認証中 *a AUTH：仮売上 *a,*d PAYSUCCESS：決済完了 PAYFAIL：決済失敗 EXPIRED：期限切れ CAPTURE：即時売上 *p,*a,*d SALES：売上確定 *a,*d CANCEL：キャンセル *p,*a,*d RETURN：返品 *a WMPROCESS：webmoney 処理中 *a</p> <p>p:PayPal 決済時のみ a:au かんたん決済時のみ d:ドコモケータイ払い決済時のみ</p>
2	ProcessDate	-	String	14	処理日時	yyyyMMddHHmmss 書式 カード・PayPal・au かんたん・ドコモケータイ払い決済時のみ返却
3	jobCd	-	String	-	処理区分	<p>以下のいずれかが返却されます。</p> <p>カード決済時 CHECK：有効性チェック CAPTURE：即時売上 AUTH：仮売上 SALES：実売上 VOID：取消 RETURN：返品 RETURNX：月跨り返品 SAUTH：簡易オーソリ</p> <p>PayPal 決済時 CAPTURE：即時売上 CANCEL：キャンセル</p> <p>au かんたん決済時 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 SALES：売上確定 CANCEL：キャンセル RETURN：返品</p> <p>ドコモケータイ払い決済時 AUTH：仮売上 CAPTURE：即時売上 SALES：売上確定 CANCEL：キャンセル</p>
4	AccessID	-	String	32	取引 ID	：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。
5	AccessPass	-	String	32	取引パスワード	：同一オーダーID でも決済手段が異なると、異なった「取引 ID」および「取引パスワード」が返却されます。

6	ItemCode	-	String	7	商品コード	カード決済時のみ返却
7	Amount	-	Integer	10	利用金額	
8	Tax	-	Integer	10	税送料	
9	SiteID	-	String	13	サイト ID	カード・au かんたん決済時のみ返却
10	MemberID	-	String	60	会員 ID	カード・au かんたん決済時のみ返却
11	CardNo	-	String	16	カード番号	カード決済時のみ返却 下 4 桁以外は伏字
12	Expire	-	String	4	有効期限	カード決済時のみ返却
13	Method	-	String	1	支払方法	カード決済時のみ返却 以下のいずれかが返却されます。 1：一括 2：分割 3：ボーナス一括 4：ボーナス分割 5：リボ
14	PayTimes	-	Integer	2	支払回数	カード決済時のみ返却
15	Forward	-	String	7	仕向先会社コード	カード決済時のみ返却
16	TranID	-	String	28	トランザクション ID	カード・PayPal 決済時のみ返却
17	Approve	-	String	7	承認番号	カード決済時のみ返却
18	ClientField1	-	String	100	加盟店自由項目 1	
19	ClientField2	-	String	100	加盟店自由項目 2	
20	ClientField3	-	String	100	加盟店自由項目 3	
21	PayType	-	String	1	決済方法	0：クレジット 1：モバイル Suica 2：Mobile Edy 3：コンビニ 4：Pay-easy 5：PayPal 7：WebMoney 8：au かんたん 9：ドコモケータイ払い
22	CvsCode	-	String	5	支払先コンビニ	コンビニ決済時のみ返却 支払先コンビニ会社コード
23	CvsConfNo	-	String	20	確認番号	コンビニ決済時のみ返却 コンビニ確認番号
24	CvsReceiptNo	-	String	32	受付番号	コンビニ決済時のみ返却 支払先コンビニが返却した受付番号
25	EdyReceiptNo	-	String	16	受付番号	Edy 決済時のみ返却 Edy 受付番号
26	EdyOrderNo	-	String	40	Edy 注文番号	Edy 決済時のみ返却 オーダーID + "-" + 連番
27	SuicaReceiptNo	-	String	9	受付番号	モバイル Suica 決済時のみ返却 Suica 受付番号
28	SuicaOrderNo	-	String	40	Suica 注文番号	モバイル Suica 決済時のみ返却 オーダーID + "-" + 連番
29	CustID	-	String	11	お客様番号	Pay-easy 決済時のみ返却 Pay-easy お客様番号
30	BkCode	-	String	5	収納機関番号	Pay-easy 決済時のみ返却 Pay-easy 収納機関番号
31	ConfNo	-	String	20	確認番号	Pay-easy 決済時のみ返却 Pay-easy 確認番号
32	EncryptReceiptNo	-	String	128	暗号化決済番号	Pay-easy 決済時のみ返却 Pay-easy 暗号化決済番号
33	PaymentTerm	-	String	14	支払期限日時	カード・PayPal・au かんたん決済・ ドコモケータイ払い決済以外の場合返却 yyyyMMddHHmmss 書式
34	ErrList	-	List	-	エラー情報リスト	エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報をリストで保持します。
	ErrHolder		ErrHold		エラー情報	エラー発生時のみ値を返却します。

			er			内部でエラーコード、エラー詳細コードを保持します。
		ErrCode	-	String	3	エラーコード エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
		ErrInfo	-	String	9	エラー詳細コード エラー発生時のみ値を返却します。 エラー情報内に収められます。
35	WebMoneyManagementNo	-	String	16	管理番号	WebMoney 決済時のみ返却 購入に使用された WebMoney の管理番号
36	WebMoneySettleCode	-	String	25	決済コード	WebMoney 決済時のみ返却 WebMoney センターが返却した決済コード
37	AuPayInfoNo	-	String	16	au 決済情報番号	au かんたん決済時のみ返却 購入に使用された au かんたん決済の管理番号 お客様が au ID 画面で確認できます。
38	AuPayMethod	-	String	2	au 支払方法	au かんたん決済時のみ返却 購入に使用された au かんたん決済の支払方法
39	AuCancelAmount	-	Integer	7	キャンセル金額	au かんたん決済時のみ返却 キャンセル・返品した金額を返却します。
40	AuCancelTax	-	Integer	7	キャンセル税送料	au かんたん決済時のみ返却 キャンセル・返品した税送料を返却します。
41	DocomoSettlementCode	-	String	12	ドコモ決済番号	ドコモケータイ払い決済時のみ返却 オーソリ処理が正常終了した時にドコモから振り出される番号です。 利用者が加盟店へ問い合わせをする際に利用します。
42	DocomoCancelAmount	-	Integer	8	ドコモキャンセル金額	ドコモケータイ払い決済時のみ返却 キャンセル・返品した金額を返却します。
43	DocomoCancelTax	-	Integer	7	ドコモキャンセル税送料	ドコモケータイ払い決済時のみ返却 キャンセル・返品した税送料を返却します。

【必須項目の記号 : 必須 : 条件により必須 空白 : 省略可能 - : 出力時】